

令和4年度

名古屋市美術館年報

2 0 2 2

目次

序	1
沿革	2
展覧会事業	3
1 常設展	3
(1)名品コレクション展	4
(2)常設企画展	11
2 特別展	14
教育普及事業	24
1 教育プログラム	24
1 一般成人対象の事業	25
(1)講演会・解説会	25
(2)コレクション解析学	25
2 子ども対象の事業	26
(1)学校休業日の体験活動の推進	27
(2)芸術と科学の杜	28
3 学校対象事業	29
(1)ボランティアによる学校等団体向け 常設展ギャラリートーク	29
(2)アートカード貸出実績	30
(3)出前アート体験	30
(4)就業・職業体験及び 職場訪問受け入れ	36
2 ボランティア	37
(1)ボランティア登録者	37
(2)定例会	37
(3)ガイド活動	37
(4)サポート活動 係の活動	37
3 学生向け優待事業	38
(1)美術館学生メンバーズ	38
(2)高校生サポーター事業	38
4 協力会	39
5 図書室	39
6 出版	40
資料	41
1 収集	41
(1)受贈	42
(2)資料収集状況一覧	44
2 保存・修復	45
3 調査・研究	46
4 貸出	47
5 寄附金	54
入館者一覧	55
組織・予算	56
1 組織図	56
2 美術館協議会	56
(1)名古屋市美術館協議会委員	56
(2)名古屋市美術館協議会開催状況	56
3 職員	56
4 運営予算	56

序

PREFACE

名古屋市美術館の令和4年度の活動をまとめた年報を発行いたします。

令和4年度も、新型コロナウイルス感染症対策を実施しながらの開館となり、11月28日からは施設・設備改修工事のため休館しました。休館中の令和5年2月3日から3月12日まで、岡山県立美術館にて「名古屋市美術館コレクション エコール・ド・パリとメキシコ・ルネサンス」を開催し、アメデオ・モディリアーニ《おさげ髪の少女》、マルク・シャガール《二重肖像》をはじめとする当館の作品を、岡山の皆様にご覧いただく機会となりました。

展覧会事業としては、特別展は、令和3年度からの開催となった「ゴッホ展——響きあう魂ヘレーネとフィンセント」に続き、愛知県で50年以上活動する庄司達の個展、コロンビア出身で90歳を迎えた現在も活躍するフェルナンド・ボテロの個展、そして世界で長年愛読されている「クマのプーさん」の原画を紹介した展覧会と国際色豊かな展覧会をご覧いただきました。常設展は名品コレクション展Ⅰ（前期・後期）、Ⅱを開催。そして特集では、「はじめまして！新収蔵品です。」にて近年収蔵した作品を紹介し、「大きな版画」では秋岡美帆をはじめとする大型版画を展示しました。また、令和4年度から2年計画で修復することになった、東山動物園猛獣画廊壁画の事前調査を公開で行うという新たな試みも実施しました。

収集活動としては、本年度は寄贈作品と資料、合わせて413点を受け入れ、令和4年3月末現在収集数は8518点となりました。作品では鬼頭鍋三郎、下郷羊雄、岸本清子、安藤正子、北川民次とゆかりがあるマヌエル・エチャウリ、アマドール・ルーゴらの作品を収集しました。特別資料では、岸本清子に関連する資料、北川民次に関連した写真資料等を収集しました。こうした郷土ゆかりの作家の資料は、作家研究のみならず、当地の美術活動を研究する上で貴重な資料です。当館の活動にご理解いただき、作品、資料をご寄贈いただきました皆様に深く感謝申し上げます。

教育普及活動については、引き続き基本的な新型コロナ感染症対策を実施し、参加者のご協力を得ながら開催しました。出前アート体験や就業・職場体験及び職場訪問の受入といった学校向け事業は、学校側と事前に内容を相談、確認したうえで実施しました。出前アート体験では、ICT（タブレット端末）を活用した美術鑑賞授業を実践しており、今後も発展させていく所存です。

新型コロナウイルス感染症は、人と人との接触を阻むなど、私たちの生活に大きな影響を与えてきました。また、多くの来場者を迎える美術館では、展覧会やイベントの実施方法の見直しを求められてきました。コロナ後の社会のあり方を受け入れながら、今後も幅広い世代の皆様が、美術館で心豊かな時間を過ごしていただけるようにと考えております。名古屋市美術館は、令和5年度は開館35周年を迎えます。あらためて美術館の果たす役割を見つめ直し、皆様のご期待に応えられるように努力してまいります。引き続き、名古屋市美術館へのご理解とご支援を賜りますようお願いいたします。

令和5年8月

名古屋市美術館

沿革 HISTORY

- 昭和52年12月 「名古屋市基本構想」策定、同構想において美術館建設をめざす
- 昭和56年1月 市長、年頭記者会見において、美術館の具体化検討を発表
12月 市会、美術館建設のための調査費を議決
- 昭和57年2月 美術館調査委員会（委員長 豊岡益人愛知県立芸術大学学長）設置、美術館のあり方について諮問
4月 「名古屋市市民文化振興のための基金に関する条例」制定
- 昭和58年1月 美術館調査委員会「名古屋市美術館（仮称）基本構想について」答申
7月 美術館建設委員会（委員長 伊藤延男東京国立文化財研究所所長）設置
8月 美術館基本設計委託（黒川紀章建築・都市設計事務所）
10月 美術館資料収集審査委員会設置、資料の収集を開始
- 昭和59年3月 建築基本設計完了
9月 美術館実施設計委託（黒川紀章建築・都市設計事務所）
- 昭和60年1月 建築実施設計完了
2月 名古屋市文化顧問（安達健二 東京国立近代美術館長）委嘱
7月 美術館建設工事着手
- 昭和61年11月 「名古屋市美術館（仮称）収集作品展」を市博物館で開催
- 昭和62年4月 美術館開設準備顧問（谷隆夫 元名古屋市助役）委嘱
7月 美術館本体工事完成
10月 外構工事完成
- 昭和63年3月 「名古屋市美術館条例」制定
4月 美術館顧問（河北倫明氏）委嘱
4月 開館（館長 谷隆夫）
- 平成元年9月 博物館登録
- 平成5年9月 南側エレベーターの設置
- 平成7年6月 美術館長（劔持一郎 元名古屋市教育長）委嘱
美術館顧問（谷隆夫 元館長）委嘱
- 平成10年10月 美術館参与（馬場駿吉 元名古屋市立大学教授）委嘱
- 平成11年6月 美術館長（小林龍郎 元名古屋市総務局長）委嘱
- 平成14年6月 美術館長（宮澤明倫 元名古屋市教育長）委嘱
- 平成18年6月 美術館長（渡辺豊彦 元名古屋市選挙管理委員会事務局長）委嘱
美術館参与（石黒鏘二 名古屋造形芸術大学名誉教授）委嘱
- 平成21年5月 美術館長（松永恒裕 元名古屋市総務局長）委嘱
6月 開館以来1,000万人目の入館者を迎える
- 平成26年5月 美術館長（横井政和 元名古屋市選挙管理委員会事務局長）委嘱
- 平成29年4月 美術館参与（早瀬弘親 元名古屋市鶴舞中央図書館長）委嘱
- 平成29年7月 美術館長（早瀬弘親 元名古屋市美術館参与）委嘱
- 令和3年4月 美術館参与（深谷克典 元名古屋市美術館副館長）委嘱
- 令和4年4月 美術館長（津坂昌樹 元名古屋市市会事務局長）委嘱

常設展では「名品コレクション展」と題して、当館の4つの収集方針に基づき、「エコール・ド・パリ」「メキシコ・ルネサンス」「現代の美術」「郷土の美術」の4つのコーナーで、それぞれテーマを設定して収蔵作品を展示しています。また、館外の作品を含めた小企画「常設企画展」、そして所蔵作品による小企画「特集」を開催しています。

本年度は、名品コレクション展を第I期前期（4月29日～6月26日）、第I期後期（7月16日～9月25日）、第II期（10月8日～11月27日）に分けて開催し、特集を3回行いました。

名品コレクション展

【エコール・ド・パリ】

第I期「ラテンアメリカへの旅」

エコール・ド・パリの画家のなかでラテンアメリカ（中南米）へ旅行した二人の画家、ジュール・バスキンと藤田嗣治に焦点をあてた展示を行いました。メキシコの児童画をきっかけに藤田と北川民次が交流したエピソードとともに、北川民次がメキシコの野外美術学校で教えた生徒、アマドール・ルーゴやデルフィーノ・ガルシアの作品も紹介しました。

第II期「フランスを眺める」

フランスの風景をテーマとして、エコール・ド・パリの画家の中から、パリに生まれパリで育った画家であるモーリス・ド・ヴラマンクやモーリス・ユトリロの作品を展示しました。同時に、荻須高德や海老原喜之助など、日本からフランスに渡った日本人画家たちが描いたフランスの風景を展示し、表現の多様性を紹介しました。

【メキシコ・ルネサンス】

第I期「アメリカ人写真家のまなざし」

20世紀初頭、ラテンアメリカはヨーロッパ文化とは異なった歴史や文化を持つため、多くの文学者や哲学者、芸術家達を惹きつけました。1920年代のアメリカでは、自らの文化的アイデンティティを求めるにあたってメキシコがインスピレーションの源の一つともなります。国境を越えてメキシコを写した2人のアメリカ写真家、ティナ・モドッティとポール・ストランドの作品を紹介しました。

第II期「メキシコの色彩」

銅版画家・深沢幸雄は、メキシコを訪れてから、モノクロの世界で自己の内面を表現する初期の作品から、簡潔な形態や鮮やかな色彩を使った表現へと作風を一変させました。ここでは、メキシコ来訪以降の深沢の版画と、ルフィーノ・タマヨの油彩・版画を展示し、作品に見られる二人の関係性や、共通する表現のルーツを紹介しました。

【現代の美術】

第I期「ニューヨークの作家たち」

美術の中心地がパリからニューヨークへと移行してい

くなかで、戦後のアメリカには世界各地から芸術家が集まるようになります。ジャクソン・ポロック、トーマス・ハート・ベントンと彼が教鞭をとったアート・スチューデント・リーグの画家たち、荒川修作、桑山忠明、アグネス・マーティン、ショーン・スカリー、ジョン・ケージの作品などを展示しました。

第II期「ものがたる」

同時期開催の特別展「クマのプーさん」が物語の挿絵であることにちなみ、芥川紗織、寛忠治、河原温、深沢幸雄、八島正明、若林奮、デイヴィッド・ホックニーなどの所蔵作品の展示を通じて、画題や作品に用いられた素材が有する物語性、作者の思想や創作行為そのものを代弁する（ものがたる）存在としての作品などを提示しました。

【郷土の美術】

第I期「今池・ブロードウェイ」

1994-97年、名古屋の今池交差点におけるパブリック・アート・プロジェクトとして、レッド・グルームスに屋外彫刻が委嘱されました。本展では、屋外彫刻が出来上がるまでの構想ドローイングや模型を、グルームスによるニューヨークを舞台とした絵画作品とともに紹介しました。また、2021年度に新収蔵した奈良原一高作品のなかから「ブロードウェイ」を撮影したシリーズも初展示しました。

第II期「生誕110年 山田光春」

愛知県を中心に美術教育者として知られるほか、瑛九（1911-1960）の研究者としても知られている画家・山田光春（1912-1981）の作品を紹介しました。1930年代のガラス絵4点を含む当館所蔵の作品10点を展示。シュルレアリスムの影響を大きく受けた戦前から、キュビズムや瑛九の点描画法に影響を受けた戦後の作品までを展覧しました。

特集

今年度最初の特集展示では、「はじめまして！新収蔵品です。」と題して、近年新たに受贈・受託した作品を展示しました。前年度に受贈した京都画壇の奇才・甲斐庄楠音（1894-1978）の日本画や、令和2年度に受贈したものの、新型コロナウイルス感染症の影響で公開の機会がなかった、名古屋育ちの洋画家・寛忠治（1908-2004）の油彩、素描などを披露しました。

特集2回目は、「猛獣画廊壁画修復プロジェクト」を開催しました。第2次世界大戦中に多くの動物を失った東山動物園では、1948年に「猛獣画廊壁画」3枚が描かれました。1997年に壁画は当館に収蔵されましたが、当初から傷みが目立ち、このたび2年計画で修復が始まりました。本特集では、修復のための事前調査を公開しました。

特集3回目は、「大きな版画」と題し、今日の美術における版画の多様性の一つとして、その大きさに着目し、秋岡美帆、磯見輝夫、木下佳通代、木下富雄、設楽知昭、中林忠良、林孝彦など当館所蔵の版画作品を展示しました。従来の版画の枠組みにとらわれない新たな表現として、各作家の用いる素材や版の作り方、刷り方を紹介しました。

(1)名品コレクション展

Selected Works from the Collection of
Nagoya City Art Museum

名品コレクション展 I

会期：2022年4月29日(金・祝)～9月25日(日)

常設展示室 1・2

☆：初出品 *：寄託作品

I 前期 2022年4月29日(金・祝)～6月26日(日)

II 後期 2022年7月16日(土)～9月25日(日)

出品作品

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	サイズ (cm)
1	甲斐庄楠音	女の顔	ca. 1919	絹本着彩	46.0×52.0 I ※常設展示室3で展示
2	山本富章	Untitled(無題)	1987	ミクストメディア	286.0×382.0×16.0 I・II

コレクション解析学

エコール・ド・パリ:ラテンアメリカへの旅

1	ジュール・パスキン	夜の娘たち	1914	木口木版・紙	5.6×11.6 I・II
2	ジュール・パスキン	ニューヨーク風景	1916	エッチング・紙	11.9×15.3 I・II
3	ジュール・パスキン	南洋にて	1916	エッチング・紙	5.9×12.4 I・II
4	ジュール・パスキン	キューバ人	1917	ドライポイント・紙	18.0×20.0 I・II
5	ジュール・パスキン	アメリカの女たち	1917	エッチング・紙	14.0×18.0 I・II
6	ジュール・パスキン	アメリカの少女	1917	ソフトグラウンドエッチング・紙	8.4×8.4 I・II
7	ジュール・パスキン	幾何学	1918	ドライポイント・紙	15.1×6.7 I・II
8	ジュール・パスキン	ジャズ・バンド	1927	エマーユ・シャンルヴェ・紙	18.8×24.3 I・II
9	ジュール・パスキン	かみあわない下手なジャズ	1928	ソフトグラウンドエッチング・紙	22.9×27.9 I・II
10	ジュール・パスキン	フロリダの黒人たち	1928	ソフトグラウンドエッチング・紙	20.0×25.3 I・II
11	ジュール・パスキン	セントラル・パーク	1929	ソフトグラウンドエッチング・紙	12.2×15.2 I・II
12	ジュール・パスキン	クララとジュヌヴィエーヴ	1925	油彩・キャンヴァス	92.0×73.0 I・II
13	ジュール・パスキン	横たわるエリアーヌ	1929	油彩・キャンヴァス	73.2×92.6 II
※1	14 マリー・ローランサン	アポリネールの娘	ca. 1924	油彩・キャンヴァス	73.1×54.0 I・II
※2	15 アメデオ・モディリアーニ	おさげ髪の少女	ca. 1918	油彩・キャンヴァス	60.1×45.4 II
16	マルク・シャガール	二重肖像	1924	油彩・キャンヴァス	130.0×100.0 I・II
17	キスリング	新聞のある静物	1913	油彩・キャンヴァス	81.0×100.0 I
18	モーリス・ユトリロ	ノルヴァン通り	1910	油彩・厚紙	73.1×92.0 I・II
*	19 藤田嗣治	裸婦	1929	油彩・キャンヴァス	73.0×101.0 I・II
*	20 藤田嗣治	猫を抱く少女	1949	油彩・キャンヴァス	70.0×51.5 I・II
21	藤田嗣治	家族の肖像	1932	鉛筆、パステル・紙	86.5×67.2 I・II
22	北川民次	タスコの山B	1934	油彩・板	45.5×60.6 I・II
23	北川民次	老人	1932	油彩・キャンヴァス	76.0×61.0 I・II
24	デルフィーノ・ガルシア	タスコの口バ	1935	油彩・キャンヴァス	51.3×60.9 I・II
25	アマドール・ルーゴ	龍舌蘭とサボテンと樹	1939	テンペラ・キャンヴァス	80.3×100.3 I・II

※1:7月31日(日)まで ※2:8月2日(火)から

現代の美術: ニューヨークの作家たち

1	イサム・ノグチ	死すべきもの	1959/62(1988)	ブロンズ	190.0×51.0×48.0	I・II
2	アンゼラム・キーファー	シベリアの女王	1988	ミクストメディア	280.0×501.0×6.5	I・II
* 3	ジョン・ケージ	セブン・デー・ダイアリー	1978	エッチング、ドライポイント等・紙	各30.5×43.0	I・II
4	ジョセフ・アルバース	白線の正方形 VIII	1966	シルクスクリーン・紙	39.8×39.8	I・II
5	ジャクソン・ポロック	ナンバー27	1951(1964)	シルクスクリーン・紙	47.3×61.6	I・II
6	桑山忠明	無題	1965	アクリル・キャンヴァス	247.7×215.9	I・II
7	アグネス・マーティン	無題 No.3	1992	アクリル・キャンヴァス	183.0×183.0	I・II
8	ショーン・スカリー	ボディ	1993	油彩・キャンヴァス	213.4×243.8	I・II
* 9	バーゴイン・ディラー	無題	1944	鉛筆、クレヨン・紙	20.3×21.0	I・II
* 10	バーゴイン・ディラー	第三主題	1945	クレヨン・紙	19.1×21.6	I・II
* 11	バーゴイン・ディラー	第三主題	1947	クレヨン・紙	27.3×28.6	I・II
* 12	バーゴイン・ディラー	無題	1948	鉛筆、クレヨン・紙	26.0×23.5	I・II
* 13	バーゴイン・ディラー	卓上構成	1960	着彩メゾナイト・着彩木片	60.3×60.3×14.7	I・II
14	荒川修作	Self Portrait(自画像)	1967	油彩、鉛筆、銀紙・キャンヴァス	173.0×62.0	I・II
15	ジョナサン・ポロフスキー	ベルリンの夢	1986	リトグラフ・紙・アルミニウム	86.4×108.6	I・II
16	ロバート・ラウシェンバーグ	鐘	1981	リトグラフ・紙	101.5×67.7	I・II
* 17	デイヴィッド・ホックニー	Mother, Los Angels 1982年12月	1982	フォト・コラージュ	135.0×99.0	I・II
18	フランク・ステラ	説教	1990	アルミニウム、ミクストメディア	345.5×365.8×139.7	I・II
19	ジョン・スローン	ヴェレツジ監獄の解体	1929	テンペラ、油彩・厚紙	76.2×61.0	I・II
* 20	トーマス・ハート・ベントン	サワーウッド・マウンテンでいい娘を見つけた	1938	リトグラフ・紙	51.4×41.9	I・II
* 21	トーマス・ハート・ベントン	オールド97の事故	1944	リトグラフ・紙	45.7×55.9	I・II
* 22	レジナルド・マーシュ	アーピング座のバーレスク	1930	エッチング・紙	24.7×30.1	I
* 23	レジナルド・マーシュ	2番街高架鉄道	1930	エッチング・紙	17.2×22.6	I
* 24	レジナルド・マーシュ	ジャージー・シティを通過する蒸気機関車	1930	エッチング・紙	12.3×25.1	I
* 25	レジナルド・マーシュ	10番街27番通り	1931	エッチング・紙	19.7×27.1	I
* 26	レジナルド・マーシュ	刺青・髭剃り・散髪	1932	エッチング・紙	25.1×19.8	I
* 27	レジナルド・マーシュ	回転木馬	1932	エッチング・紙	19.7×27.7	I
* 28	レジナルド・マーシュ	スターバーレスク	1933	エッチング・紙	30.1×22.3	I
* 29	レジナルド・マーシュ	ミンスキーズ・ニュー・ゴッサム・コーラス	1936	エッチング・紙	22.4×30.3	I
* 30	レジナルド・マーシュ	5月のある朝	1936	エンブレイヴィング・紙	20.9×28.9	I
* 31	レジナルド・マーシュ	メリーゴーランド	1938	エンブレイヴィング・紙	25.1×19.8	I
* 32	レジナルド・マーシュ	肩車	1939	エンブレイヴィング・紙	25.0×12.4	I
* 33	レジナルド・マーシュ	1939年のヴィーナス	1939	エッチング、エンブレイヴィング・紙	19.6×30.0	I
* 34	レジナルド・マーシュ	愚かな悪戯	1940	エンブレイヴィング・紙	30.1×24.6	I
* 35	レジナルド・マーシュ	ハドソン河の水浴者たち	1941	エンブレイヴィング・紙	19.7×30.2	I
* 36	レジナルド・マーシュ	陽気なバーレスク	1930	エッチング・紙	30.1×24.8	II
* 37	レジナルド・マーシュ	メリーゴーランド	1930	エッチング・紙	17.3×25.1	II
* 38	レジナルド・マーシュ	ウォール・ストリート	1931	エッチング・紙	15.0×9.9	II
* 39	レジナルド・マーシュ	客引き	1931	エッチング・紙	25.1×19.8	II
* 40	レジナルド・マーシュ	パン行列(誰も飢え死にはしない)	1932	エッチング・紙	25.1×24.8	II
* 41	レジナルド・マーシュ	給水中のエリー鉄道蒸気機関車	1934	エッチング・紙	22.1×30.1	II
* 42	レジナルド・マーシュ	メトロポリタン劇場のボックス席	1934	エッチング、エンブレイヴィング・紙	25.1×19.8	II
* 43	レジナルド・マーシュ	回転ブランコ	1935	エッチング・紙	22.0×32.6	II
* 44	レジナルド・マーシュ	木馬	1936	エッチング、エンブレイヴィング・紙	19.7×33.5	II
* 45	レジナルド・マーシュ	バッテリー公園(美人)	1938	エッチング、エンブレイヴィング・紙	22.4×30.2	II
* 46	レジナルド・マーシュ	メトロポリタン劇場の特別席	1939	エンブレイヴィング・紙	17.3×25.1	II
* 47	レジナルド・マーシュ	タブロイド新聞を読む毛皮ジャケットの娘	1940	エンブレイヴィング・紙	30.0×14.8	II
* 48	レジナルド・マーシュ	メリーゴーランド	1940	エンブレイヴィング・紙	19.7×30.2	II
* 49	レジナルド・マーシュ	右側を歩くふたりの娘	1943	エンブレイヴィング・紙	25.1×19.9	II
50	ベン・シャーン	リディツェ	1942	テンペラ・紙	130.8×99.5	I・II
51	ベン・シャーン	友達の写真屋	1945	テンペラ・板	50.8×76.2	I・II
52	北川民次	トラルバム霊園のお祭り	1930	油彩・キャンヴァス	99.5×89.8	I・II
53	北川民次	雑草の如くII	1948	油彩・キャンヴァス	162.0×130.9	I・II

メキシコ・ルネサンス: アメリカ人写真家のまなざし

1	マニエル・アルバレス・ブラボー	フリーダ・カーロ	1930-40	ゼラチン・シルバー・プリント	25.4×20.3	I・II
2	フリーダ・カーロ	死の仮面を被った少女	1938	油彩・金属板	14.9×11.0	I・II
3	フリーダ・カーロ	オブジェによる自画像	1946	ミクストメディア	90.0×90.0×10.7	I・II
4	ディエゴ・リベラ	プロレタリアの団結	1933	フレスコ・石膏(三層)、ワイヤラス(金網)、合板	161.9×201.3	I・II
5	ホセ・クレメンテ・オロスコ	メキシコ風景	1932	油彩・キャンヴァス	76.1×93.9	I・II
6	ダビッド・アルファロ・シケイロス	婦人像	1934	油彩・メゾナイト	152.7×78.7	I・II
7	ルフィーノ・タマヨ	夜の踊り子たち	1948	油彩・キャンヴァス	96.7×76.4	I
8	ルフィーノ・タマヨ	乗り遅れた乗客	1946	油彩・キャンヴァス	97.2×84.0	II
9	マリア・イスキエルド	生きている静物	1947	油彩・キャンヴァス	80.3×99.7	I・II
10	ティナ・モドッティ	プルケリア - 犬, マリオネット, ステージセット	1929	ゼラチン・シルバー・プリント	18.7×20.2	I・II
11	ティナ・モドッティ	操り人形のルネ・ダルノンクール	1929	ゼラチン・シルバー・プリント	23.7×18.7	I・II
12	ティナ・モドッティ	スタジアムの外観	1927	ゼラチン・シルバー・プリント	24.0×18.9	I・II
13	ティナ・モドッティ	カラー	1924-26	モダン・ブラチナ・パラジウム・プリント	27.5×22.1	I・II
14	ティナ・モドッティ	キリストの鞭打ち	1925-27	ヴァンテージ・ゼラチン・シルバー・プリント	24.7×19.5	I・II
15	ティナ・モドッティ	アステカの赤子	ca. 1926-27	ゼラチン・シルバー・プリント	23.1×18.5	I・II
16	ポール・ストランド	メキシカン・ポートフォリオ 1 サルティエリヨ近郊	1932(1967)	フォトグラヴェール・紙	12.5×15.8	I
17	ポール・ストランド	メキシカン・ポートフォリオ 2 教会、コアピアクストラ	1933(1967)	フォトグラヴェール・紙	16.1×12.5	I
18	ポール・ストランド	メキシカン・ポートフォリオ 3 聖母、サンフェリペ、オアハカ	1933(1967)	フォトグラヴェール・紙	26.2×20.2	I
19	ポール・ストランド	メキシカン・ポートフォリオ 4 サンタ・アナの女たち、ミチョアカン	1933(1967)	フォトグラヴェール・紙	12.7×15.8	I
20	ポール・ストランド	メキシカン・ポートフォリオ 5 サンタ・アナの男たち、ミチョアカン	1933(1967)	フォトグラヴェール・紙	16.0×12.4	I
21	ポール・ストランド	メキシカン・ポートフォリオ 6 女、バツクァロ	1933(1967)	フォトグラヴェール・紙	16.2×12.6	I
22	ポール・ストランド	メキシカン・ポートフォリオ 7 少年、ウルアバン	1933(1967)	フォトグラヴェール・紙	25.5×20.2	I
23	ポール・ストランド	メキシカン・ポートフォリオ 8 キリスト、オアハカ	1933(1967)	フォトグラヴェール・紙	26.0×20.0	I
24	ポール・ストランド	メキシカン・ポートフォリオ 9 女と少年、テナンチンゴ	1933(1967)	フォトグラヴェール・紙	15.7×12.5	I
25	ポール・ストランド	メキシカン・ポートフォリオ 10 広場、プエブラ州	1933(1967)	フォトグラヴェール・紙	12.8×15.7	I
26	ポール・ストランド	メキシカン・ポートフォリオ 11 鎌を持った男、ロス・レメディオス	1933(1967)	フォトグラヴェール・紙	16.0×12.3	II
27	ポール・ストランド	メキシカン・ポートフォリオ 12 カルバリオ、バツクァロ	1933(1967)	フォトグラヴェール・紙	25.2×19.8	II
28	ポール・ストランド	メキシカン・ポートフォリオ 13 キリスト、トラコチョアヤ、オアハカ	1933(1967)	フォトグラヴェール・紙	25.5×20.0	II
29	ポール・ストランド	メキシカン・ポートフォリオ 14 少年、イダルゴ	1933(1967)	フォトグラヴェール・紙	16.0×12.3	II
30	ポール・ストランド	メキシカン・ポートフォリオ 15 女と赤ん坊、イダルゴ	1933(1967)	フォトグラヴェール・紙	12.5×16.3	II
31	ポール・ストランド	メキシカン・ポートフォリオ 16 少女と子ども、トルカ	1933(1967)	フォトグラヴェール・紙	16.3×12.5	II
32	ポール・ストランド	メキシカン・ポートフォリオ 17 いばらのキリスト、ウエクソトゥラ	1933(1967)	フォトグラヴェール・紙	25.7×20.1	II
33	ポール・ストランド	メキシカン・ポートフォリオ 18 男、テナンチンゴ	1933(1967)	フォトグラヴェール・紙	16.4×12.7	II
34	ポール・ストランド	メキシカン・ポートフォリオ 19 若い女と少年、トルカ	1933(1967)	フォトグラヴェール・紙	12.7×15.6	II
35	ポール・ストランド	メキシカン・ポートフォリオ 20 門、イダルゴ	1933(1967)	フォトグラヴェール・紙	16.1×12.5	II

郷土の美術：今池・ブロードウェイ

1	レッド・グルームス	シーダー・バー	1993	アクリル・合板	274.0×710.0	I・II
2	レッド・グルームス	夜の今池トrolleyバス(第一次提案)	1995	グワッシュ・紙	74.9×106.0	I・II
3	レッド・グルームス	カーテンコール(第二次提案)	1995	フェルトペン、水彩・紙	59.9×45.8	I・II
4	レッド・グルームス	マエストロ、音楽を…(第二次提案)	1995	フェルトペン、水彩・紙	59.9×45.8	I・II
5	レッド・グルームス	ハイホー・シルバー(第二次提案)	1995	フェルトペン、水彩・紙	59.9×45.8	I・II
6	レッド・グルームス	ドクター・ジャズとマエストロの出会い(第二次提案)	1995	フェルトペン、水彩・紙	59.9×45.8	I・II
7	レッド・グルームス	ハイホー・ショータイム(第二次提案)	1995	フェルトペン、水彩・紙	59.9×45.8	I・II
8	レッド・グルームス	ベンハー(第二次提案)	1995	フェルトペン、水彩・紙	59.9×45.8	I・II
9	レッド・グルームス	ジャズ・ジャンボリー(第二次提案)	1995	フェルトペン、水彩・紙	59.9×45.8	I・II
10	レッド・グルームス	スターへの階段(第二次提案)	1995	フェルトペン、水彩・紙	59.9×45.8	I・II
11	レッド・グルームス	ブロードウェイ・バレリーナ(第二次提案)	1995	フェルトペン、水彩・紙	59.9×45.8	I・II
12	レッド・グルームス	「ショータイム」の第一次マケット(第三次提案)	1996	アクリル、エナメル・紙	40.0×17.3×9.7	I・II
13	レッド・グルームス	「熱くいこうぜ!」の第一次マケット(第三次提案)	1996	アクリル、エナメル・紙	40.0×17.3×9.7	I・II
14	レッド・グルームス	ハイ・ライフ;今池交差点(第四次提案)	1996	グワッシュ・紙	50.2×62.0	I・II
15	レッド・グルームス	今池ブロードウェイのリズム	1997	リトグラフ、水彩・紙	112.9×76.2	I・II
☆ 16	奈良原一高	ブロードウェイより ボウリング・グリーン	1973-74/1989	ゼラチン・シルバー・プリント	27.5×27.5	I・II
☆ 17	奈良原一高	ブロードウェイより ウォール・ストリート	1973-74/1989	ゼラチン・シルバー・プリント	27.5×27.5	I・II
☆ 18	奈良原一高	ブロードウェイより フランクリン・ストリート	1973-74/1989	ゼラチン・シルバー・プリント	27.5×27.5	I・II
☆ 19	奈良原一高	ブロードウェイより キャナル・ストリート	1973-74/1989	ゼラチン・シルバー・プリント	27.5×27.5	I・II
☆ 20	奈良原一高	ブロードウェイより グレート・ジョーンズ・ストリート	1973-74/1989	ゼラチン・シルバー・プリント	27.5×27.5	I・II
☆ 21	奈良原一高	ブロードウェイより 東22丁目	1973-74/1989	ゼラチン・シルバー・プリント	27.5×27.5	I・II
☆ 22	奈良原一高	ブロードウェイより 西29丁目	1973-74/1989	ゼラチン・シルバー・プリント	27.5×27.5	I・II
☆ 23	奈良原一高	ブロードウェイより 西41丁目	1973-74/1989	ゼラチン・シルバー・プリント	27.5×27.5	I・II
☆ 24	奈良原一高	ブロードウェイより 西44丁目	1973-74/1989	ゼラチン・シルバー・プリント	27.5×27.5	I・II
☆ 25	奈良原一高	ブロードウェイより 西57丁目	1973-74/1989	ゼラチン・シルバー・プリント	27.5×27.5	I・II
☆ 26	奈良原一高	ブロードウェイより コロンバス・サークル	1973-74/1989	ゼラチン・シルバー・プリント	27.5×27.5	I・II

名品コレクション展Ⅱ

会期：2022年10月8日(土)～11月27日(日)

常設展示室 1・2

出品作品

☆：初出品 *：寄託作品

No.	作家名	作品名	制作年	素材	サイズ (cm)	音声ガイド
-----	-----	-----	-----	----	----------	-------

コレクション解析学

1	櫃田伸也	あいまいな風景	1993	油彩・キャンヴァス	181.8×227.3	
---	------	---------	------	-----------	-------------	--

エコール・ド・パリ：フランスを眺める

1	モーリス・ド・ヴラマンク	雪の村	1940s	油彩・キャンヴァス	54.2×65.0	
2	荻須高德	サン・ドニ河岸	1958-59	油彩・キャンヴァス	73.2×91.7	
3	荻須高德	洗濯場(オーベルヴィリエ)	1958	油彩・キャンヴァス	116.3×89.2	0281
* 4	海老原喜之助	冬	1928	油彩・キャンヴァス	86.0×114.0	
5	モーリス・ユトリロ	マルカデ通り	1909	油彩・キャンヴァス	60.3×81.3	
6	モーリス・ユトリロ	ノルヴァン通り	1910	油彩・厚紙	73.1×92.0	0530
7	藤田嗣治	風景	1918 c.	油彩・キャンヴァス	46.2×38.0	
8	アメデオ・モディリアアーニ	おさげ髪の少女	1918 c.	油彩・キャンヴァス	60.1×45.4	0264
9	キスリング	マルセル・シャンタルの肖像	1935	油彩・キャンヴァス	116.0×81.0	5590
10	伊藤 廉	A.E.氏の肖像	1929	油彩・キャンヴァス	100.8×81.0	0154
11	佐分 眞	食後	1931 c.	油彩・キャンヴァス	130.3×162.1	0206
12	鬼頭鍋三郎	L. モニック	1954	油彩・キャンヴァス	90.9×72.2	
13	鬼頭鍋三郎	セーヌ河畔	1955	油彩・キャンヴァス	60.0×72.2	

現代の美術：ものがたる

1	芥川(間所)紗織	入水するおとたちばな姫	1956	染色・絹 軸装	128.9×88.6	
2	芥川(間所)紗織	民話(1)	1958	染色・木綿	162.0×112.3	
3	算 忠治	自画像	1935	油彩・キャンヴァス	91.0×73.0	
☆ 4	算 忠治	自画像	1991	油彩・キャンヴァス	41.0×32.0	
5	算 忠治	自画像	1930	インク・紙	42.0×34.9	
6	算 忠治	自画像	1940	コンテ、木炭・紙	61.8×47.0	
☆ 7	算 忠治	自画像	1949	コンテ、木炭・紙	75.0×56.0	
8	河原 温	FEB. 23, 1966 Todayシリーズ(1966-2013)より	1966	アクリル・キャンヴァス	20.5×25.5	0332
9	河原 温	MAY 29, 1971 Todayシリーズ(1966-2013)より	1971	アクリル・キャンヴァス	20.5×25.5	0332
10	河原 温	27. JULI 1976 Todayシリーズ(1966-2013)より	1976	アクリル・キャンヴァス	25.5×33.0	0332
11	河原 温	AUG. 19, 1981 Todayシリーズ(1966-2013)より	1981	アクリル・キャンヴァス	20.5×25.5	0332
12	河原 温	14 JUL. 1986 Todayシリーズ(1966-2013)より	1986	アクリル・キャンヴァス	45.5×61.5	0332
13	河原 温	百年カレンダー(18, 864日)	1984	フェルトペン、シルクスクリーン・紙	70.4×131.5	
☆ 14	深沢幸雄	ダンテ『神曲』〈地獄篇〉より チェンタウロ	1956	メゾチント・紙	紙:50.6×37.0 イメージ:36.7×23.4	
☆ 15	深沢幸雄	ダンテ『神曲』〈地獄篇〉より ブルネット・ラティーニ	1956	エッチング、ディープ・エッチング、ソフト・グランド・エッチング・紙 / ルーレット	紙:50.7×41.0 イメージ:36.7×29.4	
☆ 16	深沢幸雄	ダンテ『神曲』〈地獄篇〉より ジャンニ・スキッツ	1957	エッチング、アクアチント、ディープ・エッチング・紙 / タガネ、ルーレット	紙:50.7×41.1 イメージ:36.5×30.5	
☆ 17	深沢幸雄	ダンテ『神曲』〈地獄篇〉より ベルトラム・ダル・ボルニオ	1957	エッチング、アクアチント・紙 / ルーレット	紙:50.6×41.1 イメージ:36.6×30.3	
☆ 18	深沢幸雄	ダンテ『神曲』〈地獄篇〉より チェルベロ	1957	エッチング、ソフト・グランド・エッチング・紙	紙:52.9×49.7 イメージ:36.7×36.3	
☆ 19	深沢幸雄	ダンテ『神曲』〈地獄篇〉より ウゴリーノ	1957	エッチング、アクアチント・紙	紙:52.8×49.8 イメージ:36.6×36.4	
☆ 20	深沢幸雄	ダンテ『神曲』〈地獄篇〉より ルチフェ	1957	エッチング、ソフト・グランド・エッチング、ディープ・エッチング・紙	紙:52.7×53.6 イメージ:36.6×36.6	
☆ 21	深沢幸雄	ダンテ『神曲』〈地獄篇〉より マエストロ・アダモ	1957	エッチング、ディープ・エッチング・紙 / タガネ、ルーレット	紙:50.7×41.3 イメージ:36.6×30.5	
☆ 22	深沢幸雄	ダンテ『神曲』〈地獄篇〉より カボッキオ	1957	エッチング、アクアチント、ディープ・エッチング・紙	紙:50.7×41.0 イメージ:36.5×29.5	

23	八島正明	バスを待つ人	1971	墨・和紙	116.7×90.9	
24	八島正明	夏の日	1985	油彩・キャンヴァス	112.1×162.1	
25	若林 奮	題不詳(無題)	1974-1993	インク・木	23.0×22.3×6.9	
* 26	若林 奮	Untitled	1975	木・着彩	9.6×31.8×18.0	
* 27	若林 奮	100線No.3	1983	鉄、鉛	2.5×10.5π	
* 28	若林 奮	「所有・雰囲気・振動―森のはずれ」のための模型No.4	1984	木、石、胡粉、鉛筆、グアッシュ	7.3×29.6×25.3	
29	若林 奮	Everest Hotel VI(エヴェレスト・ホテル VI)	1991	アクリル、麻、石膏、鉄、硫黄、木	95.0×74.5×71.0	
30	若林 奮	Everest Hotel VII(エヴェレスト・ホテル VII)	1991	アクリル、麻、石膏、鉄、硫黄、木	95.0×74.5×71.0	
* 31	若林 奮	新100線 No.1	1992	鉄、鉛、石	2.3×7.3π	
* 32	若林 奮	新100線 No.2	1992	鉄、鉛	10.1×18.5×1.0	
* 33	若林 奮	黄色いカーテンと落花	1991/1998	エッチング、手彩色・紙	58.0×68.8	
34	デイヴィッド・ホックニー	C.P. カヴァフィによる14編の詩のための挿絵 1 カヴァフィの肖像、アレクサンドリアにて	1966	エッチング、アクアチント・紙	44.0×33.0 (34.1×22.1)	
35	デイヴィッド・ホックニー	C.P. カヴァフィによる14編の詩のための挿絵 2 23、4歳のふたりの少年	1966	エッチング、アクアチント・紙	44.0×33.0 (34.1×22.2)	
36	デイヴィッド・ホックニー	C.P. カヴァフィによる14編の詩のための挿絵 3 彼は次に品質を訊ねた	1966	エッチング、アクアチント・紙	44.0×33.0 (34.1×22.1)	
37	デイヴィッド・ホックニー	C.P. カヴァフィによる14編の詩のための挿絵 4 居を定める	1966	エッチング、アクアチント・紙	44.0×33.0 (34.1×22.2)	
38	デイヴィッド・ホックニー	C.P. カヴァフィによる14編の詩のための挿絵 5 古代の魔術師の処方 に倣って	1966	エッチング・紙	44.0×33.0 (34.1×22.1)	
39	デイヴィッド・ホックニー	C.P. カヴァフィによる14編の詩のための挿絵 6 古い本のなかで	1966	エッチング・紙	44.0×33.0 (34.1×22.1)	
40	デイヴィッド・ホックニー	C.P. カヴァフィによる14編の詩のための挿絵 7 煙草屋の飾り窓	1966	エッチング、アクアチント・紙	44.0×33.0 (34.7×22.4)	
41	デイヴィッド・ホックニー	C.P. カヴァフィによる14編の詩のための挿絵 8 退屈な村で	1966	エッチング・紙	44.0×33.0 (34.6×22.3)	
42	デイヴィッド・ホックニー	C.P. カヴァフィによる14編の詩のための挿絵 9 そのはじめ	1966	エッチング、アクアチント・紙	44.0×33.0 (34.9×22.3)	
43	デイヴィッド・ホックニー	C.P. カヴァフィによる14編の詩のための挿絵 10 一夜	1966	エッチング・紙	44.0×33.0 (34.1×22.1)	
44	デイヴィッド・ホックニー	C.P. カヴァフィによる14編の詩のための挿絵 11 絶望して	1966	エッチング、アクアチント・紙	44.0×33.0 (34.6×22.1)	
45	デイヴィッド・ホックニー	C.P. カヴァフィによる14編の詩のための挿絵 12 きれいな白い花	1966	エッチング、アクアチント・紙	44.0×33.0 (34.6×22.3)	
46	アンゼラム・キーファー	シベリアの王女	1988	ミクストメディア	280.0×501.0×6.5	0429
47	フランク・ステラ	説教	1990	アルミニウム、ミクストメディア	345.5×365.8×139.7	0391

メキシコ・ルネサンス:メキシコの色彩

1	フリーダ・カーロ	死の仮面を被った少女	1938	油彩・金属板	14.9×11.0	0503
2	ディエゴ・リベラ	ホコの葬列	n.d.	油彩・キャンヴァス	59.7×69.0	
3	ディエゴ・リベラ	プロレタリアの団結	1933	フレスコ・石膏(三層)、 ワイヤラス(金網)、合板	161.9×201.3	0545
4	ダビッド・アルファロ・シケイロス	母と子	1962	デュコ・メゾナイト	80.2×61.2	
5	ホセ・クレメンテ・オロスコ	白い神々	1947 c.	油彩・メゾナイト	71.0×91.5	
6	マリア・イスキエルド	旅人の肖像(アンリ・ド・シャティヨン)の肖像)	1940 c.	油彩・キャンヴァス	160.0×190.0	
7	北川民次	トラルバム霊園のお祭り	1930	油彩・キャンヴァス	99.5×89.5	0213
8	ルフィーノ・タマヨ	横笛を吹く人	1983	油彩・キャンヴァス	129.0×95.5	
9	ルフィーノ・タマヨ	苦悶する人	1949	油彩・キャンヴァス	100.0×80.0	0443
10	ルフィーノ・タマヨ	パラナの三角州の夜明け	1972	リトグラフ・紙	38.0×28.0	
11	ルフィーノ・タマヨ	パラナの三角州の夜明け	1972	リトグラフ・紙	38.0×28.0	
12	ルフィーノ・タマヨ	人物	1975	リトグラフ、エンボス・紙	76.0×55.0	
☆ 13	深沢幸雄	女帝	1967	アクアチント、マジックインク、 ドライポイント・紙/ハンダ	紙:74.7×50.4 イメージ:60.0×36.7	
☆ 14	深沢幸雄	子供の憂鬱	1969	アクアチント、シュガー・アクアチ ント、ドライポイント・紙/ハンダ	紙:73.3×49.0 イメージ:60.6×36.6	
☆ 15	深沢幸雄	アシェンダの地下にて	1980	アクアチント、エッチング、ソフトグラ ンドエッチング、メゾチント、ディ ープエッチング・紙	紙:87.8×60.8 イメージ:75.0×48.5	

郷土の美術：生誕110年 山田光春

1	山田光春	池の生物	1936	油彩・キャンヴァス	53.5×41.4
2	山田光春	夜の生物	1936	油彩・キャンヴァス	65.2×53.3
3	山田光春	巷	1937	油彩・ガラス	35.0×45.0
4	山田光春	つばな	1937	油彩・ガラス	45.0×35.0
5	山田光春	眼鏡	1937	油彩・ガラス	45.0×35.0
6	山田光春	面	1937	油彩・ガラス	45.0×35.0
7	山田光春	夕やけ	1950	油彩・キャンヴァス	116.8×80.4
8	山田光春	小鳥を捕まえる人	1953	油彩・キャンヴァス	80.5×65.7
9	山田光春	送列	1960	油彩・キャンヴァス	103.0×259.5
10	山田光春	星の誕生	1967	油彩・キャンヴァス	90.8×116.8

(2)常設企画展 Thematic Exhibition

特集 はじめまして! 新収蔵品です。

Nice to meet you,
New Collections of Nagoya City Art Museum

会期：2022年4月29日(金・祝)～6月26日(日)

会場

常設展示室3

内容

名古屋市美術館は1988年4月に836点の作品をもって開館しました。以後34年間、この方針に沿って収集を続け、令和3年度末(2022年3月)をもって、美術館の所蔵資料数は8105点に達しました。この特集展示では、収集の経緯や意義についてふれながら、近年新たに受贈・受託した作品を公開しました。

前年度(令和3年度)に新規受贈した作品の中から、京都画壇の奇才・甲斐庄楠音(1894-1978)の日本画全16点のうちの5点、杉浦幼治(1951-)の《[[大須]のためのスナップ写真作品]》全66点のうちの34点などを展示しました。特別資料として受贈した、大島哲以(1926-1999)の《[スケッチブックI-IV]》は、すでに当館の所蔵と



展示風景

なっている《惑溺》(1966)などの本画の構想が描きこまれている点で貴重なものです。同年度、新たに寄託された海老原喜之助(1904-1970)の《冬》(1928)は、かつて2006年の特別展『巴里憧憬 エコール・ド・パリと日本の画家たち』にて、当館に展示されたことがありました。

また、令和2年度に受贈したものの、新型コロナウイルス感染症の影響で公開の機会がなかった、名古屋育ちの洋画家・寛忠治(1908-2004)の作品は、油彩・素描全14点の中から5点を展示しました。

出品作品

No.作家名	作品名	制作年	技法・材質	サイズ (cm)	備考
1 海老原喜之助	冬	1928	油彩・キャンヴァス	86.0×114.0	令和3年度寄贈
2 大島哲以	惑溺	1966	紙本着彩、銀箔	90.9×116.7	参考出品 昭和60年度購入
3 大島哲以	聖なる母	1983	顔料・キャンヴァス	153.5×107.8	平成29年度寄贈
4 大島哲以	[スケッチブックI]	1963頃	鉛筆・紙	26.8×18.6	令和3年度寄贈
5 大島哲以	[スケッチブックII]	1966頃	鉛筆・紙	26.2×19.0	令和3年度寄贈
6 大島哲以	[スケッチブックIII]	1967頃	鉛筆・紙	35.9×28.4	令和3年度寄贈
7 大島哲以	[スケッチブックIV]	1967頃	鉛筆、ペン・紙	26.5×18.8	令和3年度寄贈
8 甲斐庄楠音	女の顔	1919頃	紙本着彩	46.0×52.0	令和3年度寄贈
9 甲斐庄楠音	手鏡を持つ女	1925頃	絹本着彩	44.0×51.0	令和3年度寄贈
10 甲斐庄楠音	椅子に倚る女	1920頃	鉛筆・紙	35.0×37.5	令和3年度寄贈
11 甲斐庄楠音	[美人図]	制作年不詳	絹本着彩 軸装	125.5×27.0	令和3年度寄贈
12 甲斐庄楠音	悪夢	1933頃	絹本着彩 軸装	126.0×27.0	令和3年度寄贈
13 寛 忠治	自画像	1930	インク・紙	42.0×34.9	令和2年度寄贈
14 寛 忠治	自画像	1935	油彩・キャンヴァス	91.0×73.0	令和2年度寄贈
15 寛 忠治	自画像	1940	コンテ、木炭・紙	61.8×47.0	令和2年度寄贈
16 寛 忠治	汁谷風景	1968	コンテ、木炭・紙	37.5×45.5	令和2年度寄贈
17 寛 忠治	本山付近	1972	ボールペン・紙	37.7×53.5	令和2年度寄贈
18 野見山暁治	ふり返るな	2012	油彩・キャンヴァス	162.0×194.0	令和3年度寄贈
19 井上まさじ	白から白へ	2011	アクリル、糸・板 全12点のうち10点	各60.0×30.0	令和3年度寄贈
20 杉浦幼治	[[大須]のためのスナップ写真作品]	1968-1969	ゼラチンシルバープリント 全66点のうち34点	8.1×12.2 他	令和3年度寄贈
21 名古屋電気工業高校写真部	写真集『共同制作 大須』	1969	印画紙24点貼り付け	27.4×19.5	令和3年度寄贈

特集 猛獣画廊壁画修復プロジェクト

Special Exhibition from the Collection
Restoration Project on Mural Paintings
for Higashiyama Zoo

会期：2022年7月16日(土)～9月25日(日)

会場

常設展示室3

内容

第2次世界大戦時に動物を失った東山動物園では、1948年に旧カバ舎に「猛獣画廊」が設けられ、「北極・南極」、「南方熱帯」、「アフリカ」の動物が描かれた3枚の壁画が展示されました。やがて動物園に動物が戻り、3枚の壁画は役目を終えました。制作から約50年後、1997年に当館に収蔵されましたが、当初から傷みが目立ち、修復が必要な状態でした。

2018年、当館の開館30周年を記念して開催した展覧会で初めて3枚の壁画を展示したところ、多くの皆様から関心を寄せていただき、「作品を修復すべき」とのお声もいただきました。そして、開館35周年の2023年に修復完了することを目指して「東山動物園猛獣画廊壁画修復募金」をスタートし、皆様のご支援により、名古屋市の貴重な文化財である壁画3枚の修復を開始しました。

作業は、修復の専門家、また近隣地域で文化財の修復や保護等について学ぶ学生、研究者を中心としたメンバーによるチームを組織し、人材育成を図りながら、調査、修復の研究を行うことになりました。

令和4年度は、作業を愛知県立芸術大学に依頼し、まず壁画3枚の状態を調査し、その様子を公開しました。その結果は、会場内で画像にして紹介しました。また、8月には、子ども向けのイベント「絵のお医者さんの仕事」を実施しました。

会期中には、「NHKニュース おはよう日本」(全国放送)等で紹介されました。

展示終了後、12月から3月にかけて、壁画のうち太田三郎が描いた「北極・南極」の修復を行い、年度内に修復を終了しました。

作品

《東山動物園猛獣画廊壁画No.1》1948年 太田三郎
《東山動物園猛獣画廊壁画No.2》1948年 水谷 清
《東山動物園猛獣画廊壁画No.3》1948年 宮本三郎

関連催事

絵のお医者さんの仕事—科学の目でみる絵画—

講 師：愛知県立芸術大学文化財保存修復研究所研究員
成田朱美、飯田穂野香

開 催 日：8月11日(祝・木曜日)

時 間：【午前】午前11時～午前11時30分、
【午後】午後1時30分～午後3時

場 所：講堂

対 象：小学生

参加人数：42人



公開調査風景



絵のお医者さんの仕事

特集 大きな版画

Large Prints by Contemporary Japanese Artists

会期：2022年10月8日(土)～11月27日(日)

会場

常設展示室3

内容

今日の美術における版画の多様性の一つとして、その大きさに着目し、秋岡美穂、磯見輝夫、木下佳通代、木下富雄、設楽知昭、中林忠良、林孝彦など当館所蔵の版画作品を展示しました。従来の版画の枠組みにとらわれない新たな表現として、各作家の用いる素材や版の作り方、刷り方を紹介しました。

出品作品

☆=初出品

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	サイズ (cm)
☆	1 秋岡美帆	1988 2 8 そよぎ	1988	インク・麻紙/ NECOプリント	217.0×274.5
☆	2 秋岡美帆	1988 2 8 ながれ	1988	インク・麻紙/ NECOプリント	216.5×274.5
	3 秋岡美帆	光の間 02-5-13-3	2002	インク・麻紙/ NECOプリント	217.5×276.0
	4 磯見輝夫	混沌の門	1986	木版・紙	169.0×236.0
	5 磯見輝夫	混沌の門	2008	木版・紙	169.0×236.0
	6 木下佳通代	UNTITLED	1975	シルクスクリーン、フェルトペン・紙	111.4×79.0
	7 木下富雄	祈り	1959	木版・紙	61.5×95.2(イメージ:57.3×91.3)
	8 設楽知昭	鏡よりモノタイプ	1988	カーボン、リンシード油・雁皮紙	117.0×67.0
	9 設楽知昭	鏡よりモノタイプ	1988	カーボン、リンシード油・雁皮紙	117.0×67.2
	10 設楽知昭	鏡よりモノタイプ	1988	カーボン、リンシード油・雁皮紙	117.0×67.1
☆	11 中林忠良	転位'89—地—三重の地	1989	銅版・紙、コラージュ	57.5×85.5(イメージ:52.5×76.0)
☆	12 中林忠良	転位'89—地—二重の地	1989	銅版・紙、コラージュ	107.0×79.0(イメージ:102.5×65.0)
☆	13 林 孝彦	93-風合瀬-6	1993	エッチング・和紙(三桠紙、色雁皮紙)	66.2×99.5

令和4年度は、令和3年度からの継続の展覧会「ゴッホ展——響きあう魂 ヘレーネとフィンセント」を4月10日まで開催し、引き続いて、3つの特別展を開催しました。その後、11月28日（月）から令和5年4月14日までは施設・設備改修工事のため休館しました。

4月29日（金・祝）からは、愛知県を拠点に50年以上活動を続ける作家・庄司達（1939-）の個展「布の庭にあそぶ 庄司達」を開催しました。本展では、庄司のデビュー作である〈白い布による空間〉シリーズ7点と〈Navigation〉のシリーズに加え、〈Cloth Behind〉の新作を展示しました。〈Navigation〉のシリーズから、「アーチ」「フライト」「レベル」の3種類すべてを一堂に展示する初めての機会となりました。

7月16日（土）からは、コロンビアの美術家・フェルナンド・ボテロ（1932-）の日本では26年ぶりとなる大規模な回顧展を開催しました。本展は作家自身が監修に参加し、油彩、素描、水彩計70点を展示し、なかでも2020年制作の《モナ・リザの横顔》は、本展が世界初公開の機会となりました。「ボテリズム」とも称されるあらゆるものをふくよかに描き出すボテロの作品は、個性的で多くの人を引き付ける魅力があり、またそこに潜む歴史や世相に向けられたボテロの視線の鋭さがさらに印象を深めています。

10月8日（土）からは、「クマのプーさん」展を開催しました。イギリス人作家A.A. ミルンが1920年代に子ども向けに書いたクマのプーが登場する物語は、E.H.シェパードが描いた挿絵とともに世界中で親しまれています。本展では、シェパードが1950-60年代に描いたカラーを含む原画約100点を展示しました。このたびは、挿絵を見る前に、関連展示（プーさんA to Z）や映像により「クマのプーさん」の世界を味わっていただき、挿絵をより楽しんでいただけるような従来にない構成を試みました。

令和4年度は、上記のとおり、地元を拠点に長く活動を続ける庄司達、国際的に広く知られたボテロ、そして、日本でも読み継がれている物語の挿絵といった多彩な内容の展覧会を開催しました。また、それぞれの展覧会で、作品の撮影を許可したり、会場に家族で楽しめるクイズを設置したり、映像だけでなく朗読など音を流す試みも実施しました。大半の皆様には新たな試みを楽しんでいただけましたが、写真撮影のために作品に近づいてしまうお客様がいらしたり、朗読の音が気になるといったお声をいただいたりと、今後に向けた課題も浮き彫りになってきました。これらの成果と課題は、新たな試みをしたから見てきたことであり、今後も新しいことを取り入れながら、より魅力的な展覧会を目指してまいります。

布の庭にあそぶ 庄司達

Play in a place with cloth - SHOJI SATORU

会期：2022年4月29日(金・祝)～6月26日(日)

会場

企画展示室1・2

主催

名古屋市教育委員会・名古屋市美術館、読売新聞社、メ〜テレ

後援

名古屋市立小中学校PTA協議会

協力

名古屋市交通局

観覧料

一般1,200円、高大生800円、中学生以下無料

内容

愛知県を拠点に50年以上活動を続ける作家・庄司達の個展を開催した。庄司のデビュー作である〈白い布による空間〉シリーズ7点と〈Navigation〉、〈Cloth Behind〉など、代表的なシリーズから作品を展示した。とくに、〈Navigation〉シリーズから「アーチ」、「フライト」、「レベル」の3種類すべてを一堂に展示する機会が本展が初めてとなり、展示室の空間全体が作品となるような、ダイナミックなインスタレーションを実現した。

本展では、布を使った作品空間の中を来場者が歩きながら鑑賞できる作品もあり、体験型の主体的な鑑賞を促した。また、いずれの作品も撮影可能とした。

図録

25.0×22.5cm 52ページ

編集・執筆：庄司達、森本陽香(名古屋市美術館学芸員)

発行：庄司達展実行委員会

関連催事

①アーティスト・トーク

日時：5月15日(日)午後2時～3時

会場：名古屋市美術館2階講堂

講師：庄司達

②子ども鑑賞会 庄司さんといっしょに見よう！

日時：6月12日(日)午前9時45分～10時45分
午前11時～正午

会場：名古屋市美術館2階講堂、企画展示室1・2

講師：庄司達

対象：小中学生

参加費：無料

③ワークショップ テンセグリティ作りに挑戦

日時：5月1日(日)午前10時～11時30分
午後2時～3時30分

会場：名古屋市美術館2階講堂、企画展示室1・2

講師：山田吉孝(名古屋市科学館学芸員)

対象：小中学生

参加費：無料



イベント



展示風景

出品作品

No. 作品名	制作年	技法・材質	寸法(cm)	所蔵
1 白い布による空間 マケットA	2015	布・糸・白色金属枠	45.0×45.0×49.0	作家蔵
2 白い布による空間 マケットB	2017	布・糸・白色金属枠	45.0×45.0×49.0	作家蔵
3 白い布による空間 マケットC	1996 (2022再制作)	布・糸・白色金属枠	63.0×63.0×65.0	作家蔵
4 白い布による空間 マケットD	1996	布・糸・白色金属枠	60.0×60.0×62.0	作家蔵
5 白い布による空間「空へ1」	2022	布・糸・木材枠	61.0×61.0×50.0	作家蔵
6 白い布による空間「空へ2」	2022	布・糸・木材枠	61.0×61.0×42.0	作家蔵
7 白い布による空間'68-1	1968 (2021再制作)	綿布・糸・塗装金属フレーム	202.0×202.0×216.0	作家蔵
8 白い布による空間'68-2	1968 (1979再制作)	綿布・糸・塗装金属フレーム	202.0×202.0×216.0	愛知県美術館蔵
9 白い布による空間'68-3	1968 (1979再制作)	綿布・糸・塗装金属フレーム	202.0×202.0×216.0	作家蔵
10 白い布による空間'68-4	1968 (2021再制作)	綿布・糸・塗装金属フレーム	202.0×202.0×216.0	作家蔵
11 白い布による空間'68-5	1968 (2021再制作)	綿布・糸・塗装金属フレーム	202.0×202.0×216.0	作家蔵
12 白い布による空間'68-6	1968 (2003再制作)	綿布・糸・塗装金属フレーム	200.0×200.0×216.0	名古屋市美術館蔵
13 白い布による空間'68-7	1968	綿布・糸・塗装金属フレーム	202.0×202.0×216.0	新潟市美術館蔵
14 白い布による空間一糸の柱	2022	布・糸・白色金属枠	100.0×100.0×420.0	作家蔵
15 Navigation Arch No. 11	2019	布・木	1135.0×344.0(布) 1332.0×420.0×256.0※	作家蔵
16 Navigation Level No. 5	2022	布・木	900.0×360.0(布) 600.0×1270.0×449.5※	作家蔵
17 Navigation Flight No. 6	2022	布・木・ロープ	731.0×155.0(布) 200.0×793.0×245.0※	作家蔵
18 Cloth Behind 名古屋市美術館 2022	2022	布・ロープ	1279.0×525.0×290.0※	作家蔵
19 浮かぶ布(オレンジ 六角)	2010	布・木・糸	240.0×240.0×110.0	作家蔵

※はインсталレーションサイズ(展示空間の縦×横×高さ)を示す。

ボテロ展 ふくよかな魔法

BOTERO - MAGIC IN FULL FORM

会期：2022年7月16日(土)～9月25日(日)

主催

名古屋市美術館、中京テレビ放送

後援

コロンビア共和国大使館、名古屋市立小中学校PTA協議会

協賛

光村印刷

協力

ルフトハンザ カーゴ AG、日本通運、名古屋市交通局

企画協力

NTVヨーロッパ

観覧料

一般1,800円、高大生1,000円、中学生以下無料

内容

南米コロンビア出身の美術家、フェルナンド・ボテロ(1932-)の、日本では26年ぶりとなる大規模な絵画展。ボテロの作品では、楽器や果物、さらにモナ・リザさえもボリュームのある形になって現れる。その独特な形態や色彩は、さまざまな感覚を呼び起こし、見る人を惹きつける。本展覧会は、ボテロ本人監修のもと、初年から近年までの油彩・水彩・素描など70点を紹介し、現在も制作活動が続けるボテロのこれまでと今をたどった。本展覧会は、当館およびBunkamura ザ・ミュージアム、京都市京セラ美術館に巡回した。

図録

B5変型(25.2×19.5cm)、182ページ

監修：フェルナンド・ボテロ、リナ・ボテロ、三谷理華

編集：日本テレビ放送網

発行：©日本テレビ放送網 2022

関連催事

①展示解説会

日時：8月13日(土)、8月28日(日) 午後2時～午後3時
9月9日(金) 午後6時～午後7時

講師：久保田舞美(名古屋市美術館学芸員)

会場：名古屋市美術館2階講堂

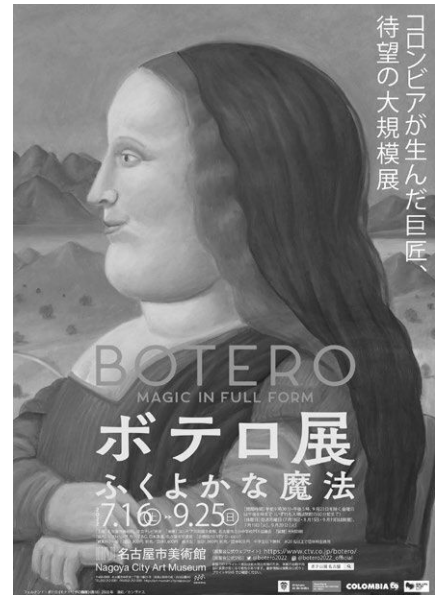
②イーブルなごやとの共催催事

「ボテロの描くふくよかな美～楽器、果物そして女性像～」

日時：7月30日(土) 午前10時30分～正午

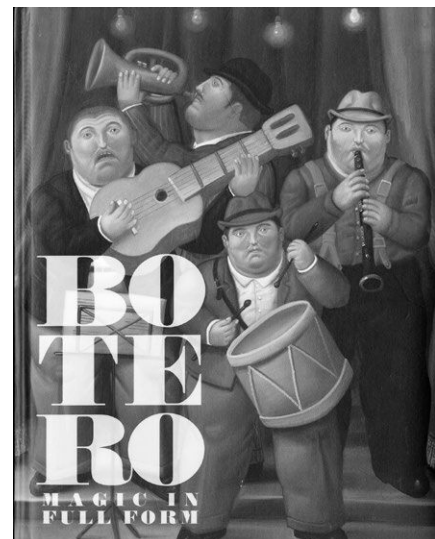
講師：久保田舞美(名古屋市美術館学芸員)

会場：イーブルなごやホール

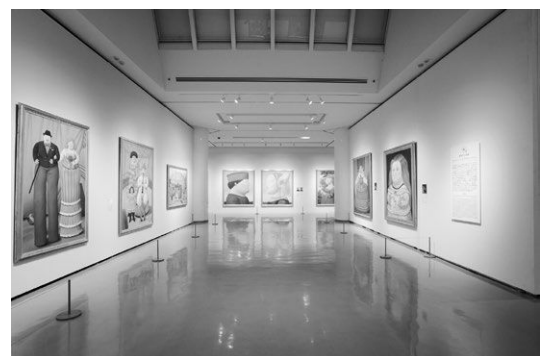


コロンビアが生んだ巨匠、
待望の大規模展

ポスター



図録



会場風景

No. 作品名	制作年	技法／支持体	寸法 (cm)
第1章 初期作品			
1 泣く女	1949	水彩／紙	56.0×43.0
2 バリエーカスの少年(ベラスケスにならって)	1959	油彩／カンヴァス	132.0×141.0
3 庭で迷う少女	1959	油彩／カンヴァス	160.0×130.0
4 馬に乗る少女	1961	油彩／カンヴァス	135.0×126.0

第2章 静物

5 バイナップル	1970	油彩／カンヴァス	186.0×191.0
6 洋梨	1976	油彩／カンヴァス	241.0×196.0
7 楽器	1998	油彩／カンヴァス	133.0×172.0
8 果物のある静物	2000	油彩／カンヴァス	128.0×158.0
9 室内	2004	油彩／カンヴァス	123.0×99.0
10 果物とビンのある静物	2005	油彩／カンヴァス	136.0×144.0
11 黄色の花(3点組)	2006	油彩／カンヴァス	199.0×161.0
12 青の花(3点組)	2006	油彩／カンヴァス	199.0×161.0
13 赤の花(3点組)	2006	油彩／カンヴァス	199.0×161.0
14 オレンジ	2008	油彩／カンヴァス	148.0×206.0

第3章 信仰の世界

15 コロンビアの聖母	1992	油彩／カンヴァス	230.0×192.0
16 枢機卿	1998	油彩／カンヴァス	97.0×71.0
17 キリスト	2000	油彩／カンヴァス	255.0×192.0
18 神学校	2004	油彩／カンヴァス	151.0×193.0
19 ヴァチカンのバスルーム	2006	油彩／カンヴァス	147.0×205.0
20 聖バルバラ	2014	油彩／カンヴァス	189.0×100.0
21 聖ゲルトルード	2014	油彩／カンヴァス	186.0×99.0
22 聖カシルダ	2014	油彩／カンヴァス	181.0×100.0
23 守護天使	2015	油彩／カンヴァス	130.0×101.0

第4-1章 ラテンアメリカの世界

24 大統領	1987	油彩／カンヴァス	185.0×127.0
25 バルコニーから落ちる女	1994	パステル／紙	102.0×71.0
26 寡婦	1997	油彩／カンヴァス	203.0×169.0
27 泣く女	1998	油彩／カンヴァス	39.0×33.0
28 横顔の女	1999	油彩／カンヴァス	206.0×159.0
29 通り	2000	油彩／カンヴァス	205.0×128.0
30 夜	1998	油彩／カンヴァス	191.0×140.0
31 バーレッスン中のバレリーナ	2001	油彩／カンヴァス	164.0×116.0
32 ピクニック	2001	油彩／カンヴァス	113.0×165.0
33 楽士たち	2001	油彩／カンヴァス	183.0×144.0
34 踊る人たち	2002	パステル／紙	142.0×118.0
35 パーティーの終わり	2006	油彩／カンヴァス	181.0×181.0
36 ヌーティスト・ビーチ	2009	油彩／カンヴァス	98.0×128.0
37 結婚したて	2010	油彩／カンヴァス	206.0×157.0
38 大統領と閣僚たち	2011	油彩／カンヴァス	152.0×197.0
39 カーニヴァル	2016	油彩／カンヴァス	129.0×94.0
40 カーニヴァル	2016	油彩／カンヴァス	100.0×72.0

第4-2章 ドローイングと水彩

41	二人の楽士	2019	鉛筆、水彩／カンヴァス	125.0×98.0
42	公園のカップル	2019	鉛筆、水彩／カンヴァス	137.0×98.0
43	立っている男	2019	鉛筆、水彩／カンヴァス	127.0×100.0
44	マタドールとピカドール	2019	鉛筆、水彩／カンヴァス	138.0×100.0
45	横たわる女	2019	鉛筆、水彩／カンヴァス	129.0×101.0
46	カーニヴァル	2019	鉛筆、水彩／カンヴァス	130.0×100.0
47	ピクニック	2019	鉛筆、水彩／カンヴァス	96.0×130.0
48	酒を飲む男と女	2019	鉛筆、水彩／カンヴァス	100.0×134.0
49	踊る人たち	2019	鉛筆、水彩／カンヴァス	133.0×100.0

第5章 サーカス

50	軽業師	2006	油彩／カンヴァス	55.0×41.0
51	空中ブランコ乗り	2007	油彩／カンヴァス	178.0×100.0
52	高足のピエロ	2007	油彩／カンヴァス	186.0×119.0
53	赤ちゃんライオンと調教師	2006	油彩／カンヴァス	125.0×168.0
54	サーカス	2007	油彩／カンヴァス	123.0×181.0
55	象	2007	油彩／カンヴァス	112.0×84.0
56	楽士たち	2008	油彩／カンヴァス	178.0×100.0
57	サーカスの女と子ども	2008	油彩／カンヴァス	100.0×82.0

第6章 変容する名画

58	ベラスケスにならって	1981	油彩／カンヴァス	173.0×140.0
59	ピエロ・デラ・フランチェスカにならって(2点組)	1998	油彩／カンヴァス	204.0×177.0
60	ピエロ・デラ・フランチェスカにならって(2点組)	1998	油彩／カンヴァス	204.0×177.0
61	ルーベンスと妻	2005	油彩／カンヴァス	205.0×173.0
62	マリー＝アントワネット(ヴィジェ・ルブランにならって)	2005	油彩／カンヴァス	205.0×151.0
63	アルノルフィーニ夫妻(ファン・エイクにならって)	2006	油彩／カンヴァス	205.0×165.0
64	ゴヤにならって	2006	油彩／カンヴァス	205.0×152.0
65	ベラスケスにならって	2006	油彩／カンヴァス	205.0×176.0
66	フォルナリーナ(ラファエロにならって)	2008	油彩／カンヴァス	198.0×143.0
67	アングルによるモワテシエ夫人にならって	2010	油彩／カンヴァス	161.0×137.0
68	クラーナハにならって	2016	油彩／カンヴァス	172.0×140.0
69	ホルバインにならって	2016	油彩／カンヴァス	156.0×120.0
70	モナ・リザの横顔	2020	油彩／カンヴァス	136.0×100.0

特別展「クマのプーさん」展

Winnie-the-Pooh

会期：2022年10月8日(土)～11月27日(日)

主催

名古屋市教育委員会・名古屋市美術館、中日新聞社、テレビ愛知、東海ラジオ放送

後援

JR東海、名古屋市立小中学校PTA協議会

協力

名古屋市交通局、近畿日本鉄道

企画協力

エリック・カール絵本美術館、PLAY! MUSEUM

観覧料

一般1,500円、高大生900円、中学生以下無料

内容

「クマのプーさん」は、イギリス人作家A.A. ミルンが1920年代に子ども向けに書いた物語で、E.H.シェパードが描いた挿絵とともに世界中で親しまれています。本展は、アメリカのエリック・カール絵本美術館が管理している、シェパードが1950-60年代に描いたカラーを含む原画約100点を展示しました。原画は、挿絵画家として経験と実績を積んだシェパード円熟期に描かれたもので、水彩絵具の使い方も巧みで、また保存状態が極めてよく、質の高いものでした。

会場は、従来型の原画を並べ、解説を添えるという見せ方だけでなく、作品を見る前に、関連展示(プーさんA to Z)や映像によって「クマのプーさん」の情報を十分に提供することで、来場者それぞれが思い思いにプーさんへの理解を深め、主体的にまたじっくりと原画を見て、楽しんでいただけることを目指した構成としました。結果、これまで美術館に来る機会がなかった方々も含め、幅広い層の方に足を運んでいただくことができました。



会場風景

図録

B 5 変形 191ページ、ISBN978-4-908356-38-4

監修：安達まみ(聖心女子大学教授)

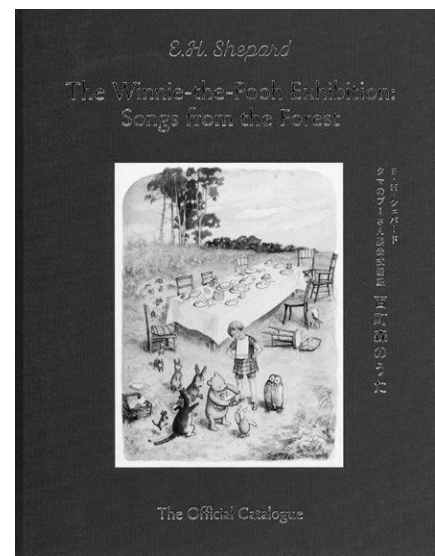
編集：永岡綾

佐藤万記、水野沙希子(ブルーシープ)

発行：ブルーシープ株式会社



ポスター



図録

関連催事・普及事業

①イーブルなごやとの共催催事

「クマのプーさん展～親子で楽しむプーさんの世界～」

日時:2022年10月18日
午前10時30分～正午

会場:イーブルなごやホール

講師:井口智子(当館学芸課長)

②「クマのプーさん」の朗読と解説を楽しむ会(大人向け)

日時:2022年11月3日
午前10時30分～、午後1時30分～(2回開催)

会場:講堂

講師:山崎聡子(東海ラジオアナウンサー)
井口智子(当館学芸課長)



朗読会

③「プーさんと絵本のおはなし会」(小学生と保護者向け)

日時:2022年11月5日
午後1時30分～、午後2時30分～(2回開催)

会場:講堂

講師:名古屋市鶴舞中央図書館司書、当館学芸員

④名古屋市の図書館との連携

1) 鶴舞中央図書館をはじめ、各図書館に図録、ポスター、チラシを提供し、それぞれの図書館で可能な時期、スペースで「クマのプーさん」を紹介。

2) 「なごや子ども応援文庫(オノオノ)」をキッズコーナーに設置。

⑤ジュニアガイド「クマのプーさん」展

展示会の解説と楽しむポイントを紹介
(小学校中学年レベルを想定)



おはなし会

出品作品

No.	作品名	技法
セクション1 プーとあるく		
クマのプーさん プー横丁にたった家 1957年		
1	クマのプーさん 第2話 プーがお客にいて、動きのとれなくなるお話	ペン、インク、水彩、鉛筆下書き/イラストボードに紙 原画
2	クマのプーさん 第6話 イーヨーがお誕生日に、お祝いをふたつもらうお話	ペン、インク、水彩、鉛筆下書き/イラストボードに紙 原画
3	クマのプーさん 第9話 コブタが、ぜんぜん、水にかこまれるお話	ペン、インク、水彩、鉛筆下書き/イラストボードに紙 原画
4	クマのプーさん 第10話 クリストファー・ロビンが、プーの慰労会をひらきます。そして、わたしたちは、さよならをいたします	水彩、インク、鉛筆下書き/イラストボードに紙 原画
5	プー横丁にたった家 第6話 プーがあたらしい遊戯を発明して、イーヨーが仲間にはいるお話	ペン、インク、水彩、鉛筆下書き/イラストボードに紙 原画
6	プー横丁にたった家 第2話 トラーが森にやってきて、朝ごはんをたべるお話	ペン、インク、水彩、鉛筆下書き/イラストボードに紙 原画
7	プー横丁にたった家 第4話 トラーは木にはのぼらないということがわかるお話	水彩、インク、鉛筆下書き/イラストボード(Keenan's)に紙 原画
8	見返し	ペン、インク、水彩、鉛筆下書き/イラストボードに紙 原画
絵本 クマのプーさん 1965年		
9	裏表紙	ペン、インク、水彩、鉛筆下書き/イラストボード 原画
10	表表紙	ペン、インク、水彩、鉛筆下書き/イラストボード 原画

11	プー横丁にたった家	第1話	プー横丁にイーヨーの家がたつお話	ペン、インク、水彩、鉛筆下書き／イラストボード	原画
12	プー横丁にたった家	第1話	プー横丁にイーヨーの家がたつお話	ペン、インク、鉛筆下書き／イラストボード	原画
13	プー横丁にたった家	第1話	プー横丁にイーヨーの家がたつお話	ペン、インク、鉛筆下書き／イラストボード	原画
14	プー横丁にたった家	第1話	プー横丁にイーヨーの家がたつお話	ペン、インク、水彩、鉛筆下書き／イラストボード	原画
15	プー横丁にたった家	第1話	プー横丁にイーヨーの家がたつお話	ペン、インク、水彩、鉛筆下書き／イラストボード	原画
16	プー横丁にたった家	第1話	プー横丁にイーヨーの家がたつお話	ペン、インク、水彩、鉛筆下書き／イラストボード	原画
17	プー横丁にたった家	第1話	プー横丁にイーヨーの家がたつお話	ペン、インク、鉛筆下書き／イラストボード	原画
18	プー横丁にたった家	第1話	プー横丁にイーヨーの家がたつお話	ペン、インク、水彩、鉛筆下書き／イラストボード	原画
19	プー横丁にたった家	第1話	プー横丁にイーヨーの家がたつお話	ペン、インク、水彩、鉛筆下書き／イラストボード	原画
20	プー横丁にたった家	第1話	プー横丁にイーヨーの家がたつお話	ペン、インク、水彩、鉛筆下書き／イラストボード	原画
21	プー横丁にたった家	第1話	プー横丁にイーヨーの家がたつお話	ペン、インク、水彩、鉛筆下書き／イラストボード	原画
22	プー横丁にたった家	第1話	プー横丁にイーヨーの家がたつお話	ペン、インク、鉛筆下書き／イラストボード	原画
23	クマのプーさん	第9話	コブタが、ぜんぜん、水にかこまれるお話	ペン、インク、水彩、鉛筆下書き／イラストボード	原画
24	クマのプーさん	第9話	コブタが、ぜんぜん、水にかこまれるお話	ペン、インク、鉛筆下書き／イラストボード	原画
25	クマのプーさん	第9話	コブタが、ぜんぜん、水にかこまれるお話	ペン、インク、鉛筆下書き／イラストボード	原画
26	クマのプーさん	第9話	コブタが、ぜんぜん、水にかこまれるお話	ペン、インク、水彩、鉛筆下書き／イラストボード	原画
27	クマのプーさん	第9話	コブタが、ぜんぜん、水にかこまれるお話	ペン、インク、水彩、鉛筆下書き／イラストボード	原画
28	クマのプーさん	第9話	コブタが、ぜんぜん、水にかこまれるお話	ペン、インク、水彩、鉛筆下書き／イラストボード	原画
29	クマのプーさん	第9話	コブタが、ぜんぜん、水にかこまれるお話	ペン、インク、水彩、鉛筆下書き／イラストボード	原画
30	クマのプーさん	第9話	コブタが、ぜんぜん、水にかこまれるお話	ペン、インク、鉛筆下書き／イラストボード	原画
31	クマのプーさん	第9話	コブタが、ぜんぜん、水にかこまれるお話	ペン、インク、鉛筆下書き／イラストボード	不採用案
32	クマのプーさん	第9話	コブタが、ぜんぜん、水にかこまれるお話	ペン、インク、水彩、鉛筆下書き／イラストボード	原画
33	プー横丁にたった家	第6話	プーがあたらしい遊戯を発明して、イーヨーが仲間にはいるお話	ペン、インク、水彩、鉛筆下書き／イラストボード	原画
34	プー横丁にたった家	第6話	プーがあたらしい遊戯を発明して、イーヨーが仲間にはいるお話	ペン、インク、水彩、鉛筆下書き／イラストボード	原画
35	プー横丁にたった家	第6話	プーがあたらしい遊戯を発明して、イーヨーが仲間にはいるお話	ペン、インク、水彩、鉛筆下書き／イラストボード	原画
36	プー横丁にたった家	第6話	プーがあたらしい遊戯を発明して、イーヨーが仲間にはいるお話	ペン、インク、水彩、鉛筆下書き／イラストボード	原画
37	プー横丁にたった家	第6話	プーがあたらしい遊戯を発明して、イーヨーが仲間にはいるお話	ペン、インク、鉛筆下書き／イラストボード	原画
38	プー横丁にたった家	第6話	プーがあたらしい遊戯を発明して、イーヨーが仲間にはいるお話	ペン、インク、水彩、鉛筆下書き／イラストボード	原画
39	プー横丁にたった家	第6話	プーがあたらしい遊戯を発明して、イーヨーが仲間にはいるお話	ペン、インク、鉛筆下書き／イラストボード	原画
40	プー横丁にたった家	第6話	プーがあたらしい遊戯を発明して、イーヨーが仲間にはいるお話	ペン、インク、水彩、鉛筆下書き／イラストボード	原画
41	プー横丁にたった家	第6話	プーがあたらしい遊戯を発明して、イーヨーが仲間にはいるお話	ペン、インク、水彩、鉛筆下書き／イラストボード	原画

プー物語関連 制作年不明

42	クマのプーさん	第1話	わたしたちが、クマのプーやミツパチとお友だちになり、さて、お話ははじまります	ペン、インク、鉛筆下書き／イラストボード	不採用案
43	クマのプーさん	第3話	プーとコブタが、狩りに出て、もうすこしでモモンガーをつかまえるお話	ペン、インク、鉛筆下書き／イラストボード	不採用案
44	プー横丁にたった家	第1話	プー横丁にイーヨーの家がたつお話	ペン、インク、鉛筆／イラストボード	不採用案
45	クマのプーさん	第10話	クリストファー・ロビンが、プーの慰労会をひらきます。そして、わたしたちは、さよならをいただきます	ペン、インク、鉛筆／イラストボード	不採用案
46	クマのプーさん	第10話	クリストファー・ロビンが、プーの慰労会をひらきます。そして、わたしたちは、さよならをいただきます	ペン、インク、鉛筆／イラストボード	不採用案
47	クマのプーさん	第8話	クリストファー・ロビンが、てんけん隊をひきいて、北極へいくお話	ペン、インク、鉛筆／イラストボード	不採用案

スピノフ(翻訳版・関連本・カードなど)

48	プーさんのお料理読本	表紙(1969)		ペン、インク、水彩、鉛筆下書き／イラストボード	原画
49	クマのプーさん	ドイツ語版	表紙(1968)	ペン、インク、水彩、鉛筆下書き／イラストボード	原画
50	バイユーのタペストリー	にちなんだ作品(制作年不明)		ペン、インク、水彩、鉛筆下書き／イラストボード	不明
51	"Happy Birthday"	(制作年不明)		ペン、インク、水彩、鉛筆下書き／紙	不採用案
52	クリスマスカードのための作品	(1960年代)		ペン、インク、水彩、色鉛筆、鉛筆下書き／イラストボード	不明
53	プーみたいなクリスマスになりますように	(制作年不明)		ペン、インク、鉛筆／イラストボード	不採用案
54	無題	(制作年不明)		ペン、インク、鉛筆下書き／イラストボード	不採用案

プーのバースデイブック 1963年

55	表紙			ペン、インク、水彩、鉛筆下書き／紙	不明
56	プーのバースデイブック			ペン、インク／紙	墨版
57	プーのバースデイブック			ペン、インク、インク・ウォッシュ／紙	色版(薄墨)
58	プーのバースデイブック			ペン、インク、不透明水彩／紙	色版(赤)
59	プーのバースデイブック			ペン、インク、不透明水彩／紙	色版(黄)
60	プーのバースデイブック			ペン、インク、不透明水彩／紙	色版(青)

セクション2 クリストファー・ロビンとうたう

クリストファー・ロビンの世界 1958年 詩集『クリストファー・ロビンのうた』『クマのプーさんとぼく』の合本版

61 表紙ジャケット	水彩、インク、鉛筆下書き／イラストボード	不採用案
62 見返し	水彩、インク、鉛筆下書き／イラストボード	原画
63 見返し	水彩、インク、鉛筆下書き／イラストボード	原画
64 クリストファー・ロビンのうた 騎士と貴婦人	ペン、インク、水彩、鉛筆下書き／イラストボード	原画
65 クリストファー・ロビンのうた わるい騎士ブライアン・ボタニー	ペン、インク、水彩、鉛筆下書き／イラストボード	原画
66 クマのプーさんとぼく ジョン王さまのクリスマス	ペン、インク、水彩、鉛筆下書き／イラストボード	原画
67 クマのプーさんとぼく ぼくたちふたり	ペン、インク、水彩、鉛筆下書き／イラストボード	原画
68 クマのプーさんとぼく 池のさしべで	ペン、インク、水彩、鉛筆下書き／イラストボード	原画
69 クリストファー・ロビンのうた まいご	ペン、インク、水彩、鉛筆下書き／イラストボード	原画
70 クマのプーさんとぼく ヒラリー王とこじき	ペン、インク、水彩、鉛筆下書き／イラストボード	原画

クリストファー・ロビンのおはなしの本 1966年

71 ハードカバー版の表紙ジャケットのための色版	ペン、インク、水彩、鉛筆／イラストボードに紙、フィルム
--------------------------	-----------------------------

クリストファー・ロビンのうたの本 1967年 詩集『クリストファー・ロビンのうた』『クマのプーさんとぼく』からの抜粋版

72 扉絵	ペン、インク、水彩、鉛筆下書き／イラストボード	不採用案
73 クリストファー・ロビンのうた バッキンガムきゅうでん	ペン、インク、水彩、鉛筆下書き／イラストボード	原画
74 クリストファー・ロビンのうた バッキンガムきゅうでん	ペン、インク、水彩、鉛筆下書き／イラストボード	原画
75 クリストファー・ロビンのうた せんとしかく	ペン、インク、水彩、鉛筆下書き／イラストボード	原画
76 クリストファー・ロビンのうた せんとしかく	ペン、インク、水彩、鉛筆下書き／イラストボード	原画
77 クリストファー・ロビンのうた メアリー・ジェーン	ペン、インク／イラストボード	原画
78 クマのプーさんとぼく ぼくたちふたり	ペン、インク、鉛筆下書き／イラストボード	不採用案
79 クマのプーさんとぼく ぼくたちふたり	ペン、インク、水彩、鉛筆下書き／イラストボード	原画
80 クリストファー・ロビンのうた 三びきの子どもぎつね	ペン、インク、水彩、鉛筆下書き／イラストボード	原画
81 クリストファー・ロビンのうた 三びきの子どもぎつね	ペン、インク、水彩、鉛筆下書き／イラストボード	原画
82 クリストファー・ロビンのうた しあわせ	ペン、インク、水彩、鉛筆下書き／イラストボード	原画
83 クマのプーさんとぼく ブランコのうた	ペン、インク、水彩、鉛筆下書き／イラストボード	原画
84 クリストファー・ロビンのうた いうことをきかないおかあさん	ペン、インク、水彩、鉛筆下書き／イラストボード	原画
85 クマのプーさんとぼく エンジニア	ペン、インク、水彩、鉛筆下書き／イラストボード	原画
86 クマのプーさんとぼく エンジニア	ペン、インク、水彩、鉛筆下書き／イラストボード	原画
87 クリストファー・ロビンのうた 王さまのあさごはん	ペン、インク、水彩、鉛筆下書き／イラストボード	原画
88 クリストファー・ロビンのうた 王さまのあさごはん	ペン、インク、水彩、鉛筆下書き／イラストボード	原画
89 クマのプーさんとぼく 小さな黒いめんどり	ペン、インク、水彩、鉛筆下書き／イラストボード	原画
90 クマのプーさんとぼく 小さな黒いめんどり	ペン、インク、水彩、鉛筆下書き／イラストボード	原画
91 クマのプーさんとぼく 小さな黒いめんどり	ペン、インク、水彩、鉛筆下書き／イラストボード	原画
92 クマのプーさんとぼく 小さな黒いめんどり	ペン、インク、水彩、鉛筆下書き／イラストボード	原画
93 クマのプーさんとぼく くしゃみ	ペン、インク、水彩、鉛筆下書き／イラストボード	原画
94 クマのプーさんとぼく ビンカー	ペン、インク、水彩、鉛筆下書き／イラストボード	原画
95 クマのプーさんとぼく ビンカー	ペン、インク、鉛筆下書き／イラストボード	原画
96 クマのプーさんとぼく ビンカー	ペン、インク／イラストボード	原画
97 クリストファー・ロビンのうた びよこん	ペン、インク、水彩、鉛筆下書き／イラストボード	原画
98 クリストファー・ロビンのうた どうぶつえん	ペン、インク、水彩、鉛筆下書き／イラストボード	原画
99 クマのプーさんとぼく ぼくといっしょにきて	ペン、インク、水彩、鉛筆下書き／イラストボード	原画
100 クリストファー・ロビンのうた おやつのでまゑに	ペン、インク、水彩、鉛筆下書き／イラストボード	原画
101 クリストファー・ロビンのうた おやすみのおいのり	ペン、インク、水彩、鉛筆下書き／イラストボード	原画
102 クリストファー・ロビンのうた おやすみのおいのり	ペン、インク、水彩、鉛筆下書き／イラストボード	原画
103 クマのプーさんとぼく くらやみのなかで	ペン、インク、水彩、鉛筆下書き／イラストボード	原画

詩集関連 制作年不明

104 クマのプーさんとぼく くしゃみ	ペン、インク、鉛筆／イラストボード	不採用案
---------------------	-------------------	------

クリストファー・ロビンのうた 1924年

105 おやすみのおいのり	リトグラフ	エディション16/20
106 せんとしかく	リトグラフ	エディション16/20
107 テディ・ベア	リトグラフ	エディション16/20
108 びよこん	リトグラフ	エディション16/20
109 びよこん	リトグラフに手書き文字	エディション不明
110 しあわせ	リトグラフ	エディション16/20

令和2年度より続く新型コロナウイルス感染症の流行により、令和4年度の教育普及事業は、長時間の会話や参加人数を制限するなど、感染拡大の防止に配慮して実施しました。

特別展に関連した企画では、「布の庭にあそぶ 庄司達」でアーティスト・トークや子ども鑑賞会を実施して、市民が地元の現役作家と交流する機会を設けました。また、名古屋市科学館の学芸員を講師に迎え、作品の物理的構造や特性を理解するためのワークショップ「テンセグリティ作りに挑戦」を実施しました。「クマのプーさん」展では、絵本の世界をより深く味わうために、アナウンサーによる「朗読と解説を楽しむ会」を大人を対象として、また図書館の司書による「絵本のおはなし会」を小学生とその保護者を対象として実施しました。

常設展、所蔵品に関連した企画では、美術講座「コレクション解析学」を今年度も実施しました。調査研究の成果をふまえて、学芸員が特定の作品について詳しく解説するもので、調査対象の作品は講座実施日の前後の期間、常設展示室に展示されます。特集「猛獣画廊壁画修復プロジェクト」開催中の夏休みには、「絵のお医者さんの仕事」と題して、修復家の仕事を子どもたちに紹介し、一部体験してもらおう企画を実施しました。例年子どもを対象に実施している「美術をたのしむプログラム」は、体験型の企画を2種類実施しました。美術館の建物を観察対象として、気になる意匠などを発見してスケッチする「みつけてみよう、かいてみよう とっておきのびじゅつかん」と、野外彫刻の鑑賞を通じて素材や質感についての感性を高める「びじゅつかんでアウトドア 彫刻ウォッチング」です。また、体験型のプログラムに申し込まなくても鑑賞を楽しむきっかけが得られるように、常設展入場者が無料で利用できる「子ども向けワークシート」を用意しました。

昨年よりも来館できる学校が増えたことから、「団体向け常設展ギャラリートーク」の利用件数が増加しました。しかしながら、新型コロナウイルス感染症の流行以前の水準まで利用件数が回復するのはまだ先になりそうです。一方、学芸員が学校に出張して鑑賞授業を实践する「出前アート体験」では大きな進展がありました。例年よりも多い14件の授業を実施することができ、そのうち13件で学

習用端末を授業中に活用しました。細部の観察や複数作品の比較がしやすい学習用端末の特性をふまえて、授業内容も変化しています。

ボランティアの活動は、引き続き常設展ギャラリートークの活動時間を短縮せざるを得ないなどの制約を受けました。それでも、各系の活動や、学校・子ども向け事業が昨年よりも活発になり、ボランティア活動の充実が、当館の教育普及活動を確実に支えています。ボランティア7期は、今年度末をもって任期満了となりましたが、そのノウハウを継承すべく自主的に勉強会が開かれるなど、頼もしい動きがありました。

美術館を支援する美術館協力会の活動として、今年度も所属会員のみ配布されるオリジナル・カレンダーが制作されました。2023年版カレンダーの原画制作は、愛知県立芸術大学准教授の安藤正子氏に依頼され、完成した水彩画《パンジーとビオラのスケッチ》が美術館に寄贈されました。

1.一般成人対象の事業

(1)講演会・解説会

年月日	時刻	内容	講師等	場所	参加者
2022年5月15日(日)	午後2時～	「布の庭にあそぶ 庄司達」アーティストトーク	庄司達(出品作家)	講堂	134
2022年8月13日(土)	午後2時～	「ボテロ展 ふくよかな魔法」作品解説会	久保田舞美(名古屋市美術館学芸員)	講堂	67
2022年8月28日(日)	午後2時～	「ボテロ展 ふくよかな魔法」作品解説会	久保田舞美(名古屋市美術館学芸員)	講堂	73
2022年9月9日(金)	午後6時～	「ボテロ展 ふくよかな魔法」作品解説会	久保田舞美(名古屋市美術館学芸員)	講堂	43
2022年11月3日(木・祝)	午前10時30分～	「クマのプーさん」の朗読と解説を楽しむ会(1回目)	山崎聡子(東海ラジオアナウンサー)、井口智子(名古屋市美術館学芸課長)	講堂	93
2022年11月3日(木・祝)	午後1時30分～	「クマのプーさん」の朗読と解説を楽しむ会(2回目)	山崎聡子(東海ラジオアナウンサー)、井口智子(名古屋市美術館学芸課長)	講堂	96
2022年11月6日(日)	午後2時～	「クマのプーさん」展地元住民向け特別鑑賞会	井口智子(名古屋市美術館学芸課長)	講堂	59

(2)コレクション解析学

当館のコレクションから1点を選び、その魅力を学芸員が紹介する美術講座。

コレクション解析学第1回

日時:2022年6月11日(土)午後2時～

演題:「穢い絵で、奇麗な絵に勝たねばならん」

作品:甲斐庄楠音《女の顔》1919年頃

講師:保崎裕徳(名古屋市美術館学芸係長)

参加者数:55名

内容:甲斐庄楠音は、大正時代中期の京都画壇で頭角を現し、美人画の領域で異彩を放った日本画家である。その表現は、従来の日本画には類例がないほど写実的かつ濃密で、当時流行の竹久夢二風の平面的な視覚表現とはまったく対照的であった。

前年度に当館の所蔵となった《女の顔》(1919年頃制作)は、当時の楠音の作風を伝える好例である。先行研究によって、この作品は第4回帝国美術院展覧会(1922年)に入選した《青衣の女》(1919年、京都市美術館蔵)の習作にあたる、という見方が示されている。また、《青衣の女》の制作に際して、楠音は日本画家・丸岡比呂史の妹トクを撮影した写真を参照したとみられている。そのため、《女の顔》のモデルとしても丸岡トクが想定されるのであるが、しかし《女の顔》の容貌はトクの印象から大きく隔たっており、ふくよかで大人びているのは一見して明らかである。《青衣の女》と《女の顔》をあらためて比較してみると、両者に構成上の共通点が認められる一方で、容貌と表情の違いから、別のモデル、別の表現意図で制作された可能性も見えてくる。

《女の顔》は、徳川美術館の館長を長年務めた熊沢五六(1896-1987)の旧蔵品であった。熊沢は、1922年に帝展会場で見た《青衣の女》に感銘を受けて以来、楠音の良き理解者となり、時にモデル代を工面して楠音の創作を支えた人物である。本講座では、《女の顔》を端緒として、熊沢独自の解釈を交えながら、楠音の人間観、芸術観を紹介した。

コレクション解析学第2回

日時:2022年8月6日(土)午後2時～

演題:ドット・バグ・リング

作品:山本富章《Untitled》1987年

講師:勝田琴絵(名古屋市美術館学芸員)

参加者数:34名

内容:愛知を拠点に現在も精力的に活動し続ける、山本富章(1949-)の作品と表現手法の変遷について紹介した。

山本の作風を特徴づけるものの一つは、赤と緑の補色に加え、金、黒、白といった存在感を主張する色による「ドット(色斑)」である。作家はこれまで制作手法としてデカルコマニーやフロタージュにも取り組み、自らの意思を前面に出さずに物質自体の強さや存在感を表すという意識のもと、素材との対話をおこなってきた。鑑賞者はこの色斑による筆触を介して、作家の制作時の行為を追体験することになる。

また、描かれる形においては、柱、アーチ、門や扉、輪(リング)といったものが、作家において重要なモチーフとなってきた。ただし、初期にはキャンバスに描いていたそれらのモチーフが、次第にレリーフ絵画として凹凸をみせはじめ、さらに彫刻のような立体的なインスタレーションへ展開している。二次元で描いていた形が、実際に量感をともなって三次元の表現へと発展したのである。

展示空間との関係で作品を捉えるならば、《Untitled》(1987年)のように展示会場にあわせてその都度大型の作品を制作する段階を経て、彩色した長方形の板や円筒、小さい木製ピンチを集積させ、会場に合わせて並び替えるインスタレーション作品へと移行した。激しい筆致による80年代の作品と、精緻な印象を与える現在

の〈Bugs (バグズ)〉〈Rings (リングス)〉シリーズの作品は、一見真逆の作品のようにも思われる。しかし、作品に内在する画面空間と、作品の外に想定される鑑賞空間を地続きのものと捉え、作品が置かれた展示空間や鑑賞者も取り込んだ「場」自体を作品とする、という画家の意図は一貫していると考えられることを示した。

内容：櫃田伸也（ひつだのぶや）は、1941年に東京都大田区に生まれ、1966年に東京藝術大学大学院を修了後、NHK美術部でのデザイナー勤務を経て、30歳から本格的に画家としての道を歩み始める。櫃田は、日常で目にする風景は、絶えず変化し、「横へ横へ流れている」ものであると捉え、遠景と近景が圧縮されたような構図に、つぶれた空き缶や草花、階段などの些細なモチーフを配し、具象とも抽象ともつかぬ風景画を作り上げる。本講座では、壁を描いた初期の作品から、山水をモチーフとした近年の作品までを、先行研究で触れられている日本画との関係を交えて紹介した。また、《あいまいな風景》に見られる「枠」の表現に着目し、本作品の造形的な特徴について、作家本人の言葉を踏まえて考察した。

コレクション解析学第3回

日時：2022年10月15日(土)午後2時～

演題：変容する風景

作品：櫃田伸也《あいまいな風景》1993年

参加者数：36名

講師：久保田舞美(名古屋市美術館学芸員)

2. 子ども対象の事業

年月日	時刻	内容	講師等	場所	参加者
2022年5月1日(日)	午前10時～	「布の庭にあそぶ 庄司達」展ワークショップ テンセグリティ作りに挑戦(午前)	山田吉孝(名古屋市科学館学芸員)	講堂・企画展示室	36
2022年5月1日(日)	午後2時～	「布の庭にあそぶ 庄司達」展ワークショップ テンセグリティ作りに挑戦(午後)	山田吉孝(名古屋市科学館学芸員)	講堂・企画展示室	14
2022年6月12日(日)	午前9時45分～	「布の庭にあそぶ 庄司達」展鑑賞ワークショップ 庄司さんといっしょに見よう! (小1～4の回)	庄司達(出品作家)	講堂・企画展示室	12
2022年6月12日(日)	午前11時～	「布の庭にあそぶ 庄司達」展鑑賞ワークショップ 庄司さんといっしょに見よう! (小5～中3の回)	庄司達(出品作家)	講堂・企画展示室	8
2022年8月11日(木)	午前10時～	絵のお医者さんの仕事 ー科学の目で見る絵画ー	愛知県立芸術大学文化財保存修復研究所研究員	講堂・企画展示室	21
2022年8月11日(木)	午後1時30分～	絵のお医者さんの仕事 ー科学の目で見る絵画ー	愛知県立芸術大学文化財保存修復研究所研究員	講堂・企画展示室	21
2022年8月20日(土)	午前10時～	みつけてみよう かいてみよう とっておきのびじゅつかん(午前)	久保田舞美(名古屋市美術館学芸員)	講堂・美術館内	15
2022年8月20日(土)	午後2時～	みつけてみよう かいてみよう とっておきのびじゅつかん(午後)	久保田舞美(名古屋市美術館学芸員)	講堂・美術館内	15
2022年8月21日(日)	午前10時～	みつけてみよう かいてみよう とっておきのびじゅつかん(午前)	久保田舞美(名古屋市美術館学芸員)	講堂・美術館内	11
2022年8月21日(日)	午後2時～	みつけてみよう かいてみよう とっておきのびじゅつかん(午後)	久保田舞美(名古屋市美術館学芸員)	講堂・美術館内	11
2022年10月30日(日)	午前10時～	サイエンス&アートフェスティバル「レゴ®ブロックで動物をつくろう!」1回目		講堂	18
2022年10月30日(日)	午後2時～	サイエンス&アートフェスティバル「レゴ®ブロックで動物をつくろう!」2回目		講堂	18

2022年11月5日(土)	午後1時30分～	ブーさんと絵本のおはなし会(1回目)	村井良(鶴舞中央図書館司書)、石垣恵(鶴舞中央図書館司書)、井口智子(名古屋市美術館学芸課長)	講堂	17
2022年11月5日(土)	午後2時30分～	ブーさんと絵本のおはなし会(2回目)	村井良(鶴舞中央図書館司書)、石垣恵(鶴舞中央図書館司書)、井口智子(名古屋市美術館学芸課長)	講堂	19
2022年11月19日(土)	午前10時～	びじゅつかんでアウトドア 彫刻ウォッチング(午前)	森本陽香(名古屋市美術館学芸員)	講堂・屋外(美術館敷地内)	10
2022年11月19日(土)	午後2時～	びじゅつかんでアウトドア 彫刻ウォッチング(午後)	森本陽香(名古屋市美術館学芸員)	講堂・屋外(美術館敷地内)	7
2022年11月20日(日)	午前10時～	びじゅつかんでアウトドア 彫刻ウォッチング(午前)	森本陽香(名古屋市美術館学芸員)	講堂・屋外(美術館敷地内)	12
2022年11月20日(日)	午後2時～	びじゅつかんでアウトドア 彫刻ウォッチング(午後)	森本陽香(名古屋市美術館学芸員)	講堂・屋外(美術館敷地内)	12

(1)学校休業日の体験活動の推進

名古屋市美術館では平成15年度から、学校休業日を対象に、美術や美術館に親しむプログラムを継続して実施している。これは名古屋市教育委員会が平成22年度まで推進してきた「なごやっ子教育推進計画」の後継として策定した「名古屋市教育振興基本計画」の一環で行うものである。

令和4年度は、来館者の利用状況や興味関心を考慮し、「美術をたのしむプログラム」として事前申込制2種類と自由参加1種類、あわせて3種類の活動を実施した。事前申込制の2種類は、当館ボランティアとともに内容を企画し、実施した。新型コロナウイルス感染拡大状況から、参加者同士の距離の確保等、コロナ対策を行った上で各ワークショップを実施した。

①事前申し込みが必要なプログラム

1) みつけてみよう、かいてみよう とっておきのび

じゅつかん

日時 8月20日(土)・21日(日)

【午前】午前10時～午前11時30分

【午後】午後2時～午後3時30分

対象 小学1～6年生(保護者の同伴なし)

会場 2階講堂、ロビー、常設展示室

参加者数 52名(2日間延べ)

スタッフ (名古屋市美術館学芸員) 久保田舞美、清家三智、森本陽香
(ボランティア)16名

内容 館内各所をめぐり、作品のほか建築意匠などを鑑賞し、名古屋市美術館の中にある「とっておき」なものを見つけるプログラム。

館内ツアーのあと、参加者それぞれが発見した「とっておき」ポイントを簡単な絵で表し、地下1階キッズコーナーに掲示した。一般の来館者が、そうした作品や意匠が美術館のどこにあるのか探すことで建物全体を楽しんでもらうことをねらいとした。参加者は4～5名ずつのグループに分かれ、ボランティアのガイドを受けながら館内を歩き、図書室の窓や展示室入口の梅鉢紋、ロビーに置かれたデザイナーズチェアなどを鑑賞。ふだんは見過ごしてしまいがちな細部に目を凝らしていた。

2) びじゅつかんでアウトドア 彫刻ウォッチング

日時 11月19日(土)・20日(日)

【午前】午前10時～午前11時30分

【午後】午後2時～午後3時30分

対象 小中学生

会場 2階講堂・美術館前庭・サンクンガーデン

参加者数 41名(2日間延べ)

スタッフ (名古屋市美術館学芸員) 森本陽香、清家三智、久保田舞美、(臨時職員)箱山朋実
(ボランティア)19名

内容 美術館前庭やサンクンガーデンに設置されている屋外彫刻を鑑賞し、彫塑用粘土(土粘土)を使用して、作品の質感(肌触り)を表現した。石やブロンズなどさまざまな素材でつくられた彫刻の質感に迫るにあたり、粘土べら以外にも歯ブラシやアルミホイール、つまようじなど、身の回りの身近な道具を用意した。参加者は、自分が気に入った作

品の質感を出すために、さまざまな道具を試しながら制作を行った。質感に着目することで、作品の細部をしっかりと観察し、作者がどんな工夫をこらしたかについても鑑賞を深めることができた。



②自由参加プログラム

1) 子ども向けワークシート

配布期間 9月7日(水)～9月25日(日)、
10月8日(土)～11月27日(日)

対象 制限なし

配架場所 常設展受付、常設展示室入口

配付部数 900枚

内容 名品コレクション展ⅠおよびⅡの出品作品をもとに、両面4ページのA5判リーフレット型のワークシートを作成し、常設展示室受付で配架した。ワークシートを使い作品をよく見ることを通して、美術作品を見ることの楽しさを感じてもらおうきっかけとした。

(2)芸術と科学の杜

「芸術と科学の杜」とは、名古屋市美術館と科学館が連携して、市民の豊かな感性と創造力を育む魅力ある事業を継続して実施するとともに、白川公園周辺の文化施設や地域とも協力して連携の輪を広げることで「芸術と科学を中心にさまざまな文化が融合し、新し

い文化を生み出すまち」の形成を目指すものである。

この事業の目的を実現するため、地元商店街や周辺の施設、関係機関で構成する「芸術と科学の杜連携推進会議」を設立し、今年度は以下の事業を実施した。

アートフェスティバル

日時 10月29日(土)、30日(日)
午前9時30分～午後4時30分

場所 名古屋市美術館・名古屋市科学館および白川公園エリア

参加者数 711名

内容

(1) 謎解きゲーム「白川公園の妖精と喜びの魔法」
美術館・科学館および白川公園内の屋外彫刻・展示物を巡りながら、謎解きをするイベントを実施した。

会場 名古屋市美術館・名古屋市科学館
および白川公園エリア

実施回 2回(29日(土)午前9時30分～午後4時30分/30日(日)午前9時30分～午後4時30分)

参加者 627名

(1回目:224名/2回目:403名)

(2) 名古屋市美術館×レゴランド® ジャパン・リゾート

「レゴ®ブロックで動物をつくろう！」

名古屋市美術館でレゴランド®と連携したワークショップを開催した。参加者はレゴ®ブロックを使って自分だけの動物の世界を作った。

会場 美術館講堂

実施回 2回(30日(日)午前10時～午前11時/午後2時～午後3時)

参加者 84名

(1回目:41名※付添23名含む/2回目:43名※付添25名含む)

地元交流事業

特別展会期中、地元の方を招待し、担当学芸員の作品解説と自由観覧を実施した。

「クマのプーさん」展

開催日 開催日:令和4年11月6日(日)

参加者 59名

3. 学校対象事業

(1) ボランティアによる学校等団体向け常設展ギャラリートーク

名古屋市美術館では、常設展を鑑賞する学校等の団体来館者に対して、希望によりボランティアによる常設展ギャラリートークを実施している。これは来館者が5～7名程度のグループにわかれて、ボランティアと一緒に展示室をまわりながら、対話を通してじっくりと美術を鑑賞するものである。本年度は、新型コロナウイルス感染症防止対策を十分に行い、以下の学校団体・一般団体に対してギャラリートークを実施した。

●学校団体(就業・職業体験含む)

No.	実施日	団体名	来館者数(生徒数)	引率者数	対応ボランティア数
1	2022年5月18日(水)	瀬戸市立にじの丘中学校1年生	3	1	2
2	2022年6月2日(木)	西尾市立吉良中学校2年生	72	3	7
3	2022年6月9日(木)	大府市立大府西中学校1年生	86	5	7
4	2022年6月14日(火)	名古屋市立八熊小学校2年生	48	3	8
5	2022年6月14日(火)	名古屋市立大杉小学校6年生	55	3	4
6	2022年6月22日(水)	名古屋市立東志賀小学校5年生	70	2	6
7	2022年7月29日(金)	椋山女学園中学校3年生	4	0	2
8	2022年7月30日(土)	日進市立日進北中学校美術部1-3年生	12	1	4
9	2022年8月10日(水)	名古屋市立名古屋商業高等学校2年生	2	0	2
10	2022年8月24日(水)	名古屋市立豊正中学校美術部1-3年生	24	1	4
11	2022年10月12日(水)	名古屋市立二城小学校6年生	61	3	7
12	2022年10月15日(土)	愛知県立春日井高等特別支援学校美術部1-3年生	16	2	9
13	2022年10月25日(火)	愛知県立惟信高等学校1-2年生	5	0	2
14	2022年11月1日(火)	名古屋市立明正小学校4年生	33	3	8
15	2022年11月10日(木)	名古屋市立若宮商業高等学校1年生	7	0	2
16	2022年11月22日(火)	一宮市立浅井中学校特別支援学級1-3年生	9	4	6
17	2022年11月24日(木)	名古屋市立前山小学校特別支援学級1-5年生	8	2	6
計			515	33	86

●一般団体

No.	実施日	団体名	来館者数	引率者数	対応ボランティア数
1	2022年9月10日(土)	放課後デイサービス ドリームズ・21st	10	11	3
2	2022年9月22日(木)	季節を感じよう お花見・ランチの会	13	0	4
3	2022年9月23日(金)	ユーラシア旅行社	14	1	2
計			37	12	9

総計

552

45

95

(2)アートカード貸出実績

アートカードは、名古屋市美術館の所蔵作品の中から60点を選び、はがき大の複製図版に仕立てた鑑賞学習用補助教材である。名古屋市立の小中学校に対しては各区に設けた保管校を通して、それ以外の学校・団体には美術館から直接貸出を行い、鑑賞学習の普及に努めている。

令和4年度 アートカード保管校一覧

区	学校名	担当の先生	ケース数	保管ケース番号
千種区	自由ヶ丘小	宮城島喜弘	3	2、3、4
東区	桜丘中	大鹿公仁子	3	1、5、6
北区	名北小	鈴木さやか	4	7、8、9、10
西区	なごや小	樋田 裕二	4	11、12、13、61
中村区	諏訪小	松本 明美	3	15、16、26
中区	御園小	伊藤 智美	3	17、18、19
昭和区	村雲小	社本 陽香	3	20、21、22
瑞穂区	瑞穂ヶ丘中	宮野 潤一	3	23、24、25
熱田区	白鳥小	佐々木めぐみ	2	27、28
中川区	はとり中	校條 敬子	4	29、30
	山王中	佐久間貴子		31、33
港区	東港中	佐藤由利子	3	34、35、36
南区	南光中	石谷和佳子	2	62、63
守山区	大森小	山田祥太郎	4	42、43、44、45
緑区	東丘小	原 敏史	5	46、47、48、49、50
名東区	高針台中	岩崎かりん	4	51、52、53、54
天白区	御幸山中	内田 真穂	4	55、56、57、58

令和4年度 アートカード保管校別貸出実績一覧

区	貸出先	ケース数	利用期間
千種	自由ヶ丘小学校	3	1月
東	なし		
北	なし		
西	なし		
中村	日比津小学校	1	4月～7月
中	御園小学校	3	4月～2月
昭和	村雲小学校	3	4月～2月
瑞穂	なし		
熱田	白鳥小学校	2	10月3日～10月21日
中川①	なし		
中川②	明正小学校	2	11月～2月
港	なし		
南	南光中学校	4	4月～2月
	本城中学校	2	4月～2月
守山	大森小学校	1	10月1日～11月1日
緑	なし		
名東	高針台中学校	1	7月
天白	なし		

計10件22ケース

令和4年度 美術館からの直接貸出実績

No.	学校・団体名	ケース数	貸出期間
1	松原小学校トワイライトスクール	1	4月18日～4月28日

計1件1ケース

(3)出前アート体験

①名東区 前山小学校

プログラム名 見つけてみよう！美術のみりよく
 日時 6月21日(火)午前10時40分～午前11時25分
 場所 教室
 学年 特別支援学級8名
 講師 (名古屋市美術館学芸員)清家三智
 授業内容 学習用端末と「ロイロノート・スクール」および教室内のモニターを使用し、以下の活動を行った。

①見比べてみよう

真野紀太郎《薔薇花》と三岸好太郎《花》、花を描いた2作品の図版を端末画面で拡大しながら丁寧に比べ、2作品の違いや、作品について良いと思ったところについて

意見を出し合った。描き方から花の鮮度やみずみずしさを想像していることや、使っている色から受ける印象のちがいが、花を正面からだけでなく様々な方向から捉えて描いていることなどに気づいている様子が見受けられた。

②絵の中の色を取り出そう

加藤静児《婦人像》とスーチン《農家の娘》、女性を描いた2作品からいずれか1作品を選んで図版を端末上で丁寧に観察する。児童に一束ずつ色カード(93色折り紙を短冊状に切ったもの)を配り、端末にかざしながら作品に使われている色を確認し、見つけた(絵から取り出した)色のカードを各自机に並べ、端末で撮影した。写真はクラス全体

で共有し、それぞれの結果から気づいたことや使われている色について感じたことを話し合った。

色について言葉で説明することは難しいが、全員が同じ色カードを使うことで、絵の中の色数を実感するだけでなく、明るさや色味が似ているが微妙に違う色の存在などを指摘しあうことができた。

②緑区 黒石小学校

プログラム名 見つけてみよう！美術のみりよく

日時 7月5日(火)午前9時45分～午前10時30分、
午前10時50分～午前11時35分

場所 教室

学年 2年生2クラス(51名)*1クラスずつ実施

講師 (名古屋市美術館学芸員)清家三智

授業内容 学習用端末と「ロイロノート・スクール」および教室内のモニターを使用し、以下の活動を行った。

①3つの作品を見比べよう

所蔵作品のバーチャルアートカードから、同じ題材を描いた作品3点を各自の端末で丁寧に観察し、描き方や色づかいなど相違点や共通点を考えた。取り上げた作品は次の通り。

〈動物〉水谷芳年《花鳥図屏風》、北脇昇《鳥獣曼荼羅》、小杉放菴《閑庭》

〈人物〉キスリング《マルセル・シャンタルの肖像》、モディリアアーニ《おさげ髪の少女》、芥川(問所)紗織《女》

〈山〉加藤静児《富士山を望む》、川合玉堂《秋嶺白雲》、山元春挙《観瀑図》

②お気に入りについて話そう

①で取り上げた作品群について、テーマごとにそれぞれ最も気に入った(あるいは気になった)作品を1点選び、どこがどのように気に入った(気になった)か紙のワークシートに記入した。学習用端末のアンケート機能を使って選んだ作品を回答した後、各自の意見を挙手で発表・共有した。

同じ題材を描いた作品を比較、観察し、互いの意見を交換することで、児童は表現の仕方が多様であること、同じ作品を見ても各自の着眼点が異なることを認識することができた。

③中区 松原小学校

プログラム名 見つけてみよう！美術のみりよく

日時 9月13日(火)午前10時45分～午前11時30分、
午前11時40分～午後0時25分

場所 教室

学年 1年生2クラス(45名)*1クラスずつ実施

講師 (名古屋市美術館学芸員)森本陽香

授業内容 児童一人ひとりが所持するタブレット端末およびバーチャルアートカードを利用して、作品鑑賞を行った。4点の風景画を順に鑑賞し、何が描かれているか、どのような描き方かなどに着目してさまざまな意見を出し合った。先に見た作品と比べて、描き方がどのように異なるかについても考えを深めた。細部まで写實的に描いた作品もあれば、力強く大胆な筆致で風景を抽象化した作品もあり、絵画には多様な描き方があることを学んだ。

④中区 松原小学校

プログラム名 見つけてみよう！美術のみりよく

日時 9月16日(水)午前9時45分～午前10時30分、
午前10時45分～午前11時30分

場所 教室

学年 2年生2クラス(56名)*クラスごとに実施

講師 (名古屋市美術館学芸員)保崎裕徳

授業内容 学習用端末と「ロイロノート・スクール」を使用して、以下の活動を行なった。

①《薔薇花》を観察しよう

当館所蔵の真野紀太郎《薔薇花》の画像を、児童は各自の端末で観察し、描かれているものを10個ワークシートに記入する。意見を出し合い、クラス全体で10個以上の要素を確認、共有する。その際、色とかたちに注目する。最後に、作品全体を見て気づいたことを発表する。

②くらべてみよう

《薔薇花》を含む、花を描いた絵の画像5点を、各自端末で見比べる。画像を拡大するなど細部に注目しながら、他の絵とは違う要素がある1点を探す。発見した「違い」を発表して、各自の気づきをクラス全体で共有する。「この絵だけ立体感がない」「この絵の花だけ花瓶にはいっていない」「この絵の花は白い百合と黄色い花の組み合わせで、他の絵に描いてあるバラがない」などの意見があがった。

⑤名東区 前山小学校

プログラム名 見つけてみよう！美術のみりょく
日 時 10月28日(金)午前9時40分～午前10時25分、
午前10時40分～午前11時25分
場 所 教室
学 年 2年生2クラス(59名)*1クラスずつ実施
講 師 (名古屋市美術館学芸係長)保崎裕徳
授業内容 学習用端末と「ロイロノート・スクール」を使用して、以下の活動を行なった。

①美術館の絵を観察しよう

当館所蔵のマリー・ローランサン《サーカスにて》(題名は伏せておく)の白黒画像を、児童は各自の端末で観察する。描かれているものを発言し、クラス全体で意見を共有する。その際、線とかたち(人物はしぐさ)に注目する。次に、作品の題名を想像してワークシートに記入する。有志で発表し、クラス全体で意見を共有する。最後に、白黒の画像を本来の彩色された画像に替えて、色の違いでどのように感じが変わったか、意見を発表する。

②くらべてみよう

《サーカスにて》を含む、人物を描いた絵の画像3点を、各自端末で見比べる。どれか1つを選び、その絵にしかない良いところを3つ探し、ワークシートに記入する。発見した「良いところ」を発表して、各自の気づきをクラス全体で共有する。「動きそうな感じがする」「帽子の色をくふうしている」「ハイタッチをしているところが楽しそう」などの意見があがった。

⑥名東区 前山小学校

プログラム名 見つけてみよう！美術のみりょく
日 時 10月31日(月)午前9時40分～午前10時25分、
午前10時40分～午前11時25分
場 所 教室
学 年 1年生3クラス(63名)*3クラスを二分して実施
講 師 (名古屋市美術館学芸員)久保田舞美
授業内容 クラウド型授業支援アプリ「ロイロノート」を利用し、児童一人ひとりが所持するタブレット端末にスライドを映して、以下のプログラムを企画、実施した。

①田中保《ソリタ・ソラノの肖像》の鑑賞

田中保《ソリタ・ソラノの肖像》を、教室前

方に設置した大型モニタに映し出すとともに、児童が各自のタブレット端末で画像を映して鑑賞する。作品を鑑賞するウォーミングアップとして、描かれているものや気になる描写について、気づいたこと、感じたことを、自由に発言していく。各自の端末で、画像を拡大して見ることで、スクリーン画像のみでは気づかないような細部にも目を向けることができた。

②アメデオ・モディリアーニ《おさげ髪の少女》の鑑賞、作品の比較

続いて、アメデオ・モディリアーニ《おさげ髪の少女》を大型モニタと各自の端末に映し出し、①と同様に鑑賞、気づいたことを自由に発言していく。その後、①で鑑賞した田中保《ソリタ・ソラノの肖像》と並べてモニタに写し、作品の比較を行った。似ているところと違うところをそれぞれ5つずつ出し合い、出た意見を、タブレット端末の付箋機能を使用して、メモをした。「同じ赤だけどこちらの作品の方が濃い赤を使っている」など、微妙な表現の違いにも気づくことができた。

⑦東区 愛知教育大学附属名古屋小学校

プログラム名 見つけてみよう！美術のみりょく
日 時 11月2日(水)午前9時40分～午前10時25分、
午前10時50分～午前11時35分
場 所 プレイイングルーム
学 年 2年生3クラス(88名)*クラスごとに実施
講 師 (名古屋市美術館学芸員)清家三智
授業内容 会場内のモニターおよびスクリーンにパワーポイントの内容を投影しながら以下の授業を行った。事前準備として授業内で鑑賞する作品の画像を学校へ提供し、児童各自の学習用端末で閲覧できるよう共有を依頼した。

①すみからすみまで丁寧に見る

加藤静児《婦人像》を各自の端末で拡大しながら、描かれているもの、背景、色づかい、描き方などを細部まで観察した。その後、気づいたことを挙手で発言させ、全体で共有した。よく見たつもりでも、他者の指摘を通して見落としがあることを気づかせた。

②見つけた「いいな」を言葉にする

芥川(間所)紗織《女》、キスリング《マルセ

ル・シャンタルの肖像》、モディリアーニ《おさげ髪の少女》の3点から、各自が気になる(あるいは好ましく思う)1点を選び、端末を使って細部まで観察した。その後、選んだ作品について「いいな」(不思議、もやもや、疑問も含む)と思った理由や具体的な箇所について紙のワークシートに記入し、挙手で発表、共有した。

児童からは「時間をかけて見ているうちに、最初気づいていなかったものに気づくようになった」「最初に見て思ったことが、時間をかけて見たり、クラスメイトの意見を聞いたりするうちに変わってくるのが面白かった」などの発言が聞かれた。

⑧千種区 高見小学校

プログラム名 見つけてみよう！美術のみりょく
日 時 11月4日(金)午前9時40分～午前10時25分、
午前10時40分～午前11時25分
場 所 教室
学 年 1年生3クラス(79名)*1クラスずつ実施
講 師 (名古屋市美術館学芸員)清家三智、森本陽香
授業内容 学習用端末と「ロイロノート・スクール」および教室内のモニターを使用し、以下の活動を行った。

①すみからすみまで丁寧に見る

加藤静児《婦人像》を各自の端末で拡大しながら、描かれているもの、背景、色づかい、描き方などを細部まで観察した。その後、気づいたことを挙手で発言させた。意見共有によって、同じ作品を見ている気になる箇所が一人ひとり違うことや、よく見たつもりでも見落としがあることを気づかせた。

②見つけた「いいな」を言葉にする

芥川(間所)紗織《女》、キスリング《マルセル・シャンタルの肖像》、モディリアーニ《おさげ髪の少女》の3点から、各自が気になる(あるいは好ましく思う)1点を選び、端末を使って細部まで観察した。その後、選んだ作品について「いいな」(不思議、もやもや、疑問も含む)と思った理由や具体的な箇所について紙のワークシートに記入、挙手で発表、共有した。

⑨南区 千鳥小学校

プログラム名 ここがおもしろい！—名作を見る・名作を知る—
日 時 11月15日(火)午前9時40分～午前11時25分、
午前11時35分～午後0時20分
場 所 教室
学 年 4年生2クラス(46名)、5年生1クラス(35名)
講 師 (名古屋市美術館学芸員)勝田琴絵、清家三智
授業内容 名古屋市美術館が所蔵する北川民次(1894-1989)の作品《トラルパム霊園のお祭り》を題材として授業を行った。

まず初めに前方のプロジェクターで図版を示すとともに、手元のタブレットで作品画像を拡大しながら、何が描かれているかをよく観察してもらった。また、作品全体からどのような印象を受けるか、なぜそのように思ったかという質問をしたところ、悲しく暗い印象(お墓があるから、空が暗いから)という声が多く挙げられた。

次に、この作品が描かれたメキシコおよびトラルパムの位置を地図で確認したのち、作者の北川民次の経歴について簡単に紹介した。彼とメキシコで交流のあった人物である、ディエゴ・リベラの壁画作品も紹介し、メキシコ壁画のように時間も場所も様々な要素を一つの画面に構成するモンタージュの手法がこの作品にも用いられていることを示した。

さらに、冒頭に探してもらった通り、一つの画面に「生」と「死」のモチーフが同居していることをきっかけに、メキシコの死生観や「死者の日」についても説明した。映画「リメンバー・ミー」を切り口に、映画にも登場する画家フリーダ・カーロと当館所蔵作品《死の仮面を被った少女》を紹介した。

新しい命に生まれ変わる過程として「死」を捉えるメキシコの死生観や、死者の魂を明るく迎え入れるメキシコの風俗を知ったうえで作品をみると、悲しく暗い印象に内包される「生」への希望に気が付き、作品の印象が変わることを狙いとした。

⑩緑区 相原小学校

プログラム名 ここがおもしろい！—名作を見る・名作を知る—
日 時 11月17日(木)午前10時35分～午前11時20分

場 所 体育館
学 年 4年生3クラス(71名)
講 師 (名古屋市美術館学芸係長)保崎裕徳
授業内容 学習用端末とプロジェクターを用いて、以下の活動を行なった。

①名作を鑑賞しよう

エドヴァルド・ムンクの《叫び》を大型スクリーンに投影したあと、一旦画像を消す。《叫び》について覚えていることを、児童は各自ワークシートに書き出す。また、《叫び》の人物がどんなポーズだったかを、各々再現してみる。気づきや意見を出し合った後で、各自端末を開き、《叫び》がどんな絵だったかを細部にわたって確認する。最後に、なぜ「叫び」というタイトルがついているのかを考える。

②名古屋市美術館の作品を鑑賞しよう

モーリス・ユトリロの《ノルヴァン通り》の画像を各自端末で観察して、描かれているものを発表する。次に、大型スクリーンに投影されたパリの風景写真(現在のノルヴァン通りを撮影したもの)と比較しながら、ワークシートの質問「この絵はどんな感じがするか」「この絵のよいところは」に答える。

⑪東区 あずま中学校

プログラム名 ここがおもしろい！一名作を見る・名作を知る—
日 時 12月16日(金)午前9時40分～午前11時25分、
午前11時35分～午後0時20分
場 所 教室
学 年 3年生2クラス(76名)*1クラスずつ実施
講 師 (名古屋市美術館学芸課長)井口智子
授業内容 本授業では、当館所蔵の藤田嗣治《自画像》を主作品として取り上げた。授業のねらいとしては、作品をよく見て、描かれた意味を考え、それを確認し、自分であればどのように自画像を描くのかを考えてみるという内容を設定し、事前に担当教員と打ち合わせた。

授業のはじめに、名古屋市美術館について簡単に説明した。その後、藤田《自画像》を映写し、何が描かれているかを問いかけた。そして藤田は自分が制作している姿を描いていることを確認し、画家が「画家の姿の自分」を描くということはどういうことか

を考えた。

次に、ファン・ゴッホの《画家としての自画像》を隣に並べて、比較。いずれも描く姿の自分を表現しているが、藤田は硯・墨・筆といった道具を描き込んでおり、自分が日本人的な制作手段を用いていることを強調していることが考えられることを話した。さらに、藤田が東京美術学校を卒業した際に描いた自画像を紹介。主作品の《自画像》と比較しながら見てもらった。加えて、別の藤田の自画像を紹介。また、異なる画家が描いた藤田の姿を映し、それぞれが藤田の特徴を捉えており、一人の人物の表し方の多様な側面を見つけてもらった。

画家が描いた自画像は、画家が解釈した自分の姿が表れており、私たちはそれを見て楽しんだり、いろいろ考えたりできる。また、いわゆる「似姿」でなくても、見る人に「これが自分である」「ここを見てほしい」ということ、伝えたいことを強調して描くことができることも絵画の面白さであることを話した。最後に藤田の姿はなく、愛用品を描いた作品を紹介し、姿はなくても藤田が自分を表した「自画像」とも解釈できるのではないかと、という点を考えた。そしてピカソをはじめほかの画家も自画像を描いているのでぜひ見てほしいこと、また自分が自画像を描くことがあったら、いわゆる似姿でなくても、自分らしさを自分の方法で描きだすといった手法があることも伝えた。

2クラスで授業を行ったが、いずれも積極的に質問に返答があり、また生徒同士も相談したり、感想を話したりと楽しい雰囲気の中で授業を実施することができた。

⑫守山区 吉根小学校

プログラム名 見つけてみよう！美術のみりよく
日 時 12月19日(月)午前9時40分～午前10時25分、
午前10時40分～午前11時25分
場 所 学習室
学 年 1年生4クラス(89名)*4クラスを二分して実施
講 師 (名古屋市美術館学芸員)久保田舞美
授業内容 クラウド型授業支援アプリ「ロイロノート」を利用し、児童一人ひとりが所持するタブ

レット端末にスライドを映して、以下のプログラムを企画、実施した。

①村山槐多《房州風景》の鑑賞

教室前方に設置した大型モニタに映し出すとともに、児童が各自のタブレット端末で画像を映し、鑑賞する。作品を鑑賞するウォーミングアップとして、描かれているものや気になる描写について、気づいたこと、感じたことを、自由に発言していく。要素を識別することが難しい作品であったが、各自の端末で、画像を拡大して見ること、自分なりに形を解釈し、何が描かれているのかの意見を交わすことができた。

②キーワードゲーム

大型モニタと各自の端末に3点の作品（加藤静児《海岸風景》、野崎華年《洛北紅葉》、モーリス・ユトリロ《ノルヴァン通り》）を映し、課題として与えられたキーワード「あかるい」に最もふさわしい作品を1点選ぶ。各自に配布したワークシートに、選んだ作品が最もあかるいと思った理由を書く。書き終わった後、作品を1つずつ大型モニタに映し、各自が選んだ作品について、ワークシートに書いたことを共有する。いくつかの意見を学芸員がとりあげて、形や色の明度の違いなどの問いかけを重ね、児童の意見を求める。意見の共有を通して、「あかるい」の捉え方の違いに気づく児童もいた。

⑬北区 城北小学校

プログラム名 見つけてみよう！美術のみりょく
日 時 1月24日(火)午前9時40分～午前10時25分、
午前10時45分～午前11時30分
場 所 特活室
学 年 5年生3クラス(96名)*3クラスを二分して実施
講 師 (名古屋市美術館学芸員)清家三智
授業内容 学習用端末と「ロイロノート・スクール」および教室内のモニターを使用し、以下の活動を行った。

①生き物が描かれている作品をさがそう

児童各自の学習用端末から名古屋市美術館公式ウェブサイト内のバーチャルアートカードのページにアクセス、全45点を閲覧しながら動物の描かれている作品を探した。サムネイル画像でも分かる簡単なものから、

実際に画像を開いて細部まで観察しないと気づかない作品まで、実際にサイトを活用しながら触れてもらう機会とした。

②描き方、表現の仕方の違いを味わおう

小杉放菴《閑庭》、水谷芳年《花鳥図屏風》、スーチン《鳥のいる静物》を順に鑑賞しながら、(1)何が描かれているか、(2)どのように描かれているか、(3)描いた人はどんなことを工夫したのか、について考え、気づいたことを紙のワークシートにメモした後、挙手で発表、全体で共有した。特に2点目以降の鑑賞では、1点目と比べてどうか、など比較する視点を取り入れながら違いを言語化するように促した。

⑭名東区 猪子石小学校

プログラム名 ここがおもしろい！—名作を見る・名作を知る—
日 時 1月25日(水)午前9時50分～午前10時35分、
午前10時50分～午前11時35分
場 所 教室
学 年 4年生2クラス(57名)*1クラスずつ実施
講 師 (名古屋市美術館学芸員)竹葉丈
授業内容 当館が所蔵するメキシコの女性画家フリーダ・カーロ(1907-1954)の作品《死の仮面を被った少女》を題材として授業を行う。まず初めにパワーポイントでカラー図版を紹介するとともに、全員に図版コピーを配り、作品に描かれた場面について想像してもらう。担当の先生の協力を得て、複数の子供たちに絵に対する自身の第一印象を発表してもらった。荒野に立つ骸骨の仮面を被った少女に対しては、一様にある種の寂しさや恐怖、何か悲しい物語があるような感想を得た。その後、絵の中の少女が被る骸骨の仮面の意味を、メキシコの死生観に照らし合わせて紹介し、少女が手にしている花(=マリーゴールド)が、現世と彼岸とをつなぐ象徴として、メキシコの民族行事「死者の日」に於いて重要な意味を持つことを解説した。一通りの解説の後、三年前に製作・公開されたディズニー映画『リメンバー・ミー』のステルを見せると、子供たちの理解と興味は一気に昂まった。その後、少女の足元に置かれたジャガーの仮面に込められた意味について紹介し、「骸骨」のイメージとと

もに、メキシコに於ける仮面の意味と特性について紹介した。

最後に作者であるフリーダ・カーロの人生と制作活動について紹介したが、先に挙げたディズニー映画にも主人公の冒険を助ける役回りで登場していることもあってか、作品の成り立ちとともに作家に対しても興味を持ってくれた。以上、作品をはじめて見た時に感じた怖さを払拭し、作品が持つ奥深さと悲しさを確認できたのではないだろうか。

少し時間が余ったため、生徒たちが持つタブレット端末で「死」の仮面とジャガーの仮面の“着せ替え”について提案、担任の先生が「切り抜いて」くれて、みんなに配信、その他パワーポイントで用意したメキシコのマスクを着せ替えて、各自で物語を考えてもらった。先生の機転と対応により、新たな授業内容にこれまでにない参加型の要素を加えることができた。

(4)就業・職業体験及び職場訪問受け入れ

1 対象 中学校・高等学校生徒

2 内容 【体験】美術館の役割や総務課、学芸課の仕事について知るとともに、警備、案内監視、施設管理等の業務を知り、体験する。

【訪問】館内施設の見学や講義、疑問点へのインタビュー等から、美術館の役割や仕事について知る。

3 実績

就業・職業体験

実施日	学校名	学年	人数
2022年7月26日(火)・29日(金)	椋山女学園中学校	3年	4人
2022年8月9日(火)・10日(水)	名古屋市立名古屋商業高等学校	2年	2人
2022年8月23日(火)	名古屋中学校	2年	5人
2022年10月25日(火)	愛知県立惟信高等学校	1年	5人
2022年11月8日(火)～10日(木)	名古屋市立若宮商業高等学校	1年	7人
計			23人

職場訪問

実施日	学校名	学年	人数
2022年5月19日(木)	下呂市立下呂中学校	2年	5人
2022年11月24日(木)	大府市立大府西中学校	1年	3人
計			8人

2 ボランティア

主な活動として、常設展示室でのギャラリートークを実施したが、新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響により、実施日、実施時間、参加人数を制限しての実施となった。

多くのメンバーが活動する中で、一人当たりの活動の機会を確保することや、ガイドの質やレベルを平準化することが今後の課題であり、美術館としては、ボランティアが安心して積極的に活動に取り組めるよう支援していくことが責務である。

(1)ボランティア登録者(2023年3月31日現在)

第7期：池本せい子、井上静夫、今井康夫、遠藤明子、太田美奈、大塚和子、加藤久子、末原みとせ、薦森敦子、平尾真実、安原栄里、横井文代、吉川優実 ほか、計14名

第8期：内海典子、川合幸代、神田初美、橘田純子、杉原和夫、杉山要、鈴木昌弘、都築祥子、

道家千津子、廣瀬千明 ほか、計16名

第9期：伊藤和子、魚住千加子、可児理佳、北村滋規、近藤理恵、下田薫子、鈴木浩司、恒川明美、西田果絵、廣瀬典子、前澤真奈美、目加田頼子、吉村由紀江、渡辺順子 ほか、計17名

第10期：池田裕子、伊藤早苗、川合葉子、久野るみ子、中島鋭夫、二宮由加里、野沢忠道 ほか、計9名

第11期：青木未来、明石有里、浅田雅代、足立三和子、石田由美、石原由美子、大矢雅道、岡本千花栄、小澤真理、笠山るみ子、神田美智子、黒田あつ子、五藤紳一郎、谷口亜希子、野中美佳、平尾智子、福井恵子、藤原佳子、二見公子、三浦肇、溝口純子、山下純、若林啓子 計23名

(2)定例会

定例会は原則として毎月第2土曜日の午前中に開催した。12月～2月は工事休館のため開催しなかった。ボランティア間の連絡・調整の他に以下のような研修を行った。6月、8月、10月の研修は、同日開催のコレクション解析学で代替した。

開催日	時 間	内 容	講 師
4月9日	午前10時～正午	係活動の話し合い	
5月14日	午前10時～正午	名品コレクション展Iについて	勝田学芸員
6月11日	午前10時～正午	コレクション解析学(午後2時～)で代替	保崎学芸係長
7月2日	午前10時～正午	ICTを用いた活動のための機器操作等研修	保崎学芸係長、清家学芸員
8月6日	午前10時～正午	コレクション解析学(午後2時～)で代替	勝田学芸員
9月10日	午前10時～正午	名品コレクション展IIについて	清家学芸員、森本学芸員、久保田学芸員
10月15日	午前10時～正午	コレクション解析学(午後2時～)で代替	久保田学芸員
11月12日	午前10時～正午	黙示録の世界	久保田学芸員
3月18日	午前9時30分～ 午前11時45分	次年度名品コレクション展Iについて	保崎学芸係長、竹葉学芸員

(3)ガイド活動

①常設展ギャラリートーク

休館日を除く毎日(午後1時30分～・午後2時30分～)、一般を対象とした約30分のガイドツアーを各日ボランティア2名が担当した。

活動日数 166日間
延べ参加者数 566名

②特別展ギャラリートーク

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止した。

(4)サポート活動 系の活動

研修係

前年度のギャラリートーク模擬実践などの反省を踏まえ、トークを行う上での不安や疑問点をボランティア間で共有し、互いの対話や経験談から解決方法を探

る場として、9月に1回、11月に1回、定例会後に座談会を行った。係まとめ役からボランティア全体に企画趣旨を説明し、参加は任意としたが、それぞれ22名、20名が参加した。新型コロナウイルス感染症の対応により長らく実施できていなかったボランティア同士の交流の機会にもなり、ギャラリートーク活動に対する考え方を、経験年数を越えて共有することができた。

館外研修の実施は見送ったが、所蔵作品や作家に関わる展覧会があれば定例会で情報提供し、個別での鑑賞を呼び掛けた。

資料係

常設展の展示替えごとの作品に関連する資料や、定例会レクチャー、コレクション解析学等の音源をデータ化し保存するなど、常設展ギャラリートークの参考となる情報を整理しボランティアに提供、配布した。

体験活動係

美術をたのしむプログラム2022の事業のうち、事前申込制プログラム「みつけてみよう、かいてみよう とっておきのびじゅつかん」、「びじゅつかんでアウトドア 彫刻ウォッチング」の2つのプログラムの企画および実施を、学芸員とともに行った。美術館の常設作品や建築意匠を活用したワークショップを考案し、美術館の定番事業に育てることで、市民に広く美術館の楽しみを知っていただくきっかけとすることを目的とした。係内から有志のメンバーを募り、意見交換やシミュレーションを繰り返しながら企画を掘り下げた。感染対策のため、人数制限や時間制限を考慮してプログラムを作成。実施当日も多くのボランティアの参加により、細やかな目配りと対応を心掛け、円滑に実施することができた。

団体対応係

学校団体等による常設展の鑑賞活動の研鑽のため、ボランティアによる自主勉強会を、前期・後期の計2回実施した（前期：7月2日〔土〕午後1時～午後3時30分、19名参加、後期：令和5年1月14日〔土〕午前10時～正午、15名参加）。前期は、ギャラリートークの経験が豊富なボランティアのトークを聞いた後、トーク役と小学生役に分かれて、小学生向けのトーク練習を行った。後期は、屋外の立体作品を対象に模擬トークを行った後、ワークシートを使って、子どもに対するトークについて、話しの始め方や意見の受け取り方などについて、意見を交わした。前期・後期とも、主に、令和4年度で卒業となった7期のボランティアの経験や技術を学ぶ機会となった。

3 学生向け優待事業

(1)美術館学生メンバーズ

①趣旨

美術館と大学等との教育連携により、学生と美術との出会いを容易にし、学生生活をより豊かにする機会を提供する。

②対象

大学（短大、大学院）、専修学校、各種学校等の学校の生徒。オプションとして教職員の付加も可能。

③事業概要

「ゆめ・プレミアムアートコレクション寄附金」に一定額以上の寄附を行った学校法人や団体に対して、その特典として、在籍する学生等がその年度の特別展や常設展を学生証等の呈示だけで無料で観覧できるようにするもの。

④会員校(令和5年3月31日現在)

- ・名古屋大学
- ・名古屋芸術大学
- ・名古屋学院大学
- ・名古屋市立大学
- ・愛知県立芸術大学
- ・愛知淑徳大学
- ・学校法人中西学園
- ・南山大学
- ・豊田工業大学
- ・金城学院大学
- ・中部大学
- ・愛知教育大学
- ・名古屋造形大学
- ・中日美容専門学校

(2)高校生サポーター事業

①趣旨

事業の実施により、高校生の美術に対する理解を深め、学校生活をより豊かにする機会を提供する。

②対象

高等学校、中等教育学校（後期課程に限る。）又は高等専門学校の生徒。

③事業概要

2,000円の会費の納付により、納付から1年間の会員期間の間、サポーター証及び学生証の呈示により特典を受けられる。特別展は会員及び同行する高校生が4回を上限に無料で観覧でき、常設展は会員が何度でも無料で観覧できる。

4 協力会

名古屋市美術館協力会は、美術館の活動等に協力するとともに、市民の美術に関する知識と教養の向上を図るために必要な事業を行い、芸術文化の振興発展に寄与することを目的に活動を行っています。

<会員数>		<新規・継続別> (令和5年3月31日現在)		
		新規	継続	計
特別会員	5名	特別会員	0名	5名
一般会員	88名	一般会員	8名	80名
ユース会員	15名	ユース会員	11名	4名
家族会員	50名	家族会員	4名	46名
(計)	158名	(計)	23名	135名
				158名

令和4年度美術館協力会事業報告

- 展覧会ギャラリー・トークの開催
 - 「布の庭にあそぶ 庄司達」解説会
令和4年5月15日(日) 33名参加
 - 「ボテロ展 ふくよかな魔法」解説会
令和4年7月17日(日) 49名参加
 - 「クマのプーさん」展解説会
令和4年10月9日(日) 29名参加
- 美術館見学ツアーの実施
 - 春 中止
 - 秋 中止
- 作家を囲む会 無し
- 美術館鑑賞ミニツアー
 - 一宮市三岸節子記念美術館
「貝殻旅行—三岸好太郎・節子展」
令和4年4月2日(土) 10名参加
 - 愛知県美術館
「ミロ展 日本を夢みて」
令和4年6月4日(土) 22名参加
 - 愛知県美術館
「STILL ALIVE 国際芸術祭 あいち2022」
令和4年9月11日(日) 24名参加
 - 一宮市三岸節子記念美術館
「河鍋暁翠展」
令和4年11月27日(日) 19名参加
 - 豊田市美術館
「ゲルハルト・リヒター展」
令和5年1月22日(日) 21名参加
 - 愛知県美術館
「岡本太郎展」
令和5年2月4日(土) 11名参加
 - INAXライブミュージアム
「常滑の岡本太郎1952展」
令和5年2月26日(日) 7名参加

- 令和4年度ブログ閲覧状況〔投稿44件、閲覧数10,218回、ユーザー数(延)3,017名〕
- オリジナル・カレンダーの作成及び配付
原画:安藤正子(愛知県立芸術大学准教授・油画専攻)
250部
- 催しものの案内
特別展、常設展、講演会など情報提供、年間展覧会案内、アートペーパーの配付
- 作品の寄贈
オリジナル・カレンダー1件1点
- 総会の開催
令和4年6月26日(日)
出席者 10名(委任状100名)計110名

5 図書室

図書室の資料の充実を図るとともに、そのときどきの特別展に即した参考資料を揃えるなどして、利用者の多様なニーズに応えるよう努力しています。

図書資料分類別冊数一覧 (令和5年3月31日現在)

分類	和書	洋書
辞書、辞典、年鑑、図書目録	596(8)	225(0)
画集、美術全集、所蔵品目録	7,994(83)	3,635(7)
展覧会図録	14,695(247)	1,561(10)
研究書、技法書	420(4)	22(3)
年報、紀要、報告書	9,494(343)	31(0)
美術雑誌	13,425(95)	2,589(1)
その他(美術教科書、一般図書)	2,752(29)	1,101(2)
小計	49,376(809)	9,164(23)
総計	58,540(832)冊	

()は今年度の受け入れ図書冊数

入室者数 2,793名

4月	881名	10月	126名
5月	175名	11月	121名
6月	91名	12月	0名
7月	294名	1月	0名
8月	592名	2月	0名
9月	513名	3月	0名

出版・制作物一覧

美術館ニュース『アートペーパー』Nos. 120、121、122

美術館の活動状況や美術・文化についての様々な情報を広報するものです。No.117より判型、紙面レイアウトを刷新しました。

A4判、6頁、片観音折り、各5,000部、館内無料配布およびPDFデータを当館ウェブサイトに掲載

特集記事

- 120号：失われた時への哀惜 1920年代のパリと3人の女
- 121号：芥川（間所）紗織と民話のなかの生き物たち
- 122号：横井礼以 動物へのまなざし—鳥—



名古屋市美術館研究紀要 第17巻

美術や博物館活動等に関して、主に当館学芸員による調査・研究の詳細を収めた冊子です。

A4判、24頁、300部、関係機関配布およびPDFデータを当館ウェブサイトに掲載



令和3年度名古屋市美術館年報

令和3年度の当館の活動の記録です。

A4判、91頁、PDFデータを当館ウェブサイトに掲載



令和5年度年間案内

令和5年度の展覧会情報と教育普及プログラムについて広報するものです。

A3判(2つ折り、3山経本折り)、20,000部、館内無料配布



名古屋市美術館は近代美術館として、名古屋文化圏と考えられる伊勢湾周辺地帯の優れた美術品「郷土の美術」を収集することから出発しました。地元を代表する作家のうち、全国的または国際的な視点から、美術史上、重要と認められる作家については、作家個人の芸術の発展が明らかになるように系統立てて収集することとしました。こうした方針のもと、地元重要作家への影響と関連を理解するために有益であり、収蔵品に厚みをもたせて美術館の特色を出し、また国際性を考慮し、「エコール・ド・パリ」「メキシコ・ルネサンス」「現代の美術」の3つの収集方針を加え、収集の範囲を広げました。現在、以上の4つの方針に沿って収集を進めています。

収集にあたっては、資料収集会議において、各分野の専門家5人から意見を聴取し、作品・資料の受入を行います。令和4年度は、令和5年1月30日に資料収集会議を開催し、意見聴取を行いました。会議では、6点の受贈（作品）、14点の受託（作品）、407点の受贈（特別資料）について意見を伺いました。結果、すべての候補作品を受け入れ、令和4年度末において、当館の資料収集数は、8518点となりました。

本年度は、鬼頭鍋三郎、下郷羊雄、岸本清子、安藤正子ら郷土ゆかりの作家の作品、またメキシコの画家マヌエル・エチャウリとアマドール・ルーゴの作品を受贈しました。鬼頭の作品は、作家初期の代表作として知られる当館所蔵の《手をかざす女》のための習作と思われる作品で、完成作の制作過程を考える上で興味深い作品です。また、下郷羊雄《貝殻》は1935年に制作されており、名古屋におけるシュルレアリスム興隆の直前の時期の作品で、作家研究とともに名古屋の洋画研究の上でも意味を持つ作例と考えられます。特別資料では、岸本清子に関連する資料134件、302点を受贈しました。個展会場の写真、スケッチ類、スタイル画といった岸本の多岐にわたる活動を伝える資料の

数々が含まれています。また、北川民次関連資料として、北川が第2次世界大戦後すぐに始めた東山動物園児童美術学校の集合写真を含む、38点の写真、また馬場八潮撮影機材一式（写真機、レンズ、組み立て式三脚など66点）を受贈しました。

ほか、石川英鳳、藤田嗣治、淵上白陽の作品を受託しました。

令和4年度も、作家にかかわる写真、スケッチ類、創作のためのメモ、蔵書といった資料類を受け入れました。これらは作家の創作活動を知る上で貴重な資料であり、今後も整理、研究を続け、広く研究に資することができるように努めてまいります。

(1) 受贈

① 資料



1. 鬼頭鍋三郎 (1899-1982)
KITO Nabesaburo
《[[手をかざす女]のための習作]》
[Study of "Woman with her Hand over Eyes"]
n.d.
油彩・キャンヴァス
45.0×37.8cm



2. 下郷羊雄 (1907-1981)
SHIMOZATO Yoshio
《貝殻》
Shell
1935
油彩・板
40.9×31.9cm
江上真知子氏旧蔵



3. 岸本清子 (1939-1988)
KISHIMOTO Sayako
《[Erotical Girl(エロティカル・ガール)]》
[Erotical Girl]
c.1983
パステル・紙
65.0×50.0cm
飯田慈子氏寄贈



4. マヌエル・エチャウリ (1914-2001)
Manuel ECHAURI
《タスコ遠望》
Distant View of Taxco
c.1988
油彩・キャンヴァス
15.9×42.0cm



5. アマドール・ルーゴ (1921-2002)
Amador LUGO
《いなかの少女》
Peasant Girl
1936
グワッシュ・紙
59.8×48.3cm



6. 安藤正子 (1976-)
ANDO Masako
《[パンジーとビオラのスケッチ]》
Sketch of Pansies and Violas
2022
水彩、水彩色鉛筆、アクリル・木炭紙
65.0×65.0cm
安藤正子氏寄贈

②特別資料



1. 岸本清子(1939-1988)
KISHIMOTO Sayako
《岸本清子関連資料 134件302点》
Related Documents and Materials of
KISHIMOTO Sayako
1960年代～1980年代
写真、スケッチ、書籍等
飯田慈子氏寄贈



2. 北川民次(1894-1989)
KITAGAWA Tamiji
《北川民次関連資料 10件38点》
Materials related to Tamiji Kitagawa
c.1949, n.d.[1974, 1980s], 1993
ゼラチンシルバープリント・紙(松谷錦二郎氏
撮影写真、松谷泰輔氏撮影写真等)
松谷泰輔氏寄贈



3. 馬場八潮(1903-1974)
BABA Yashio
《馬場八潮旧蔵 撮影機材一式 27件66点》
Photography Equipment of BABA Yashio
1930～1950年代
カメラ、レンズ等 撮影機材



4. 安藤正子(1976-)
ANDO Masako
《パンジーとビオラのスケッチ(名古屋市美術館協力会カレンダー2023)》
Sketch of Pansies and Violas(Nagoya City Art Museum Membership Calendar 2023)
2022
オフセット印刷・紙
42.0×29.7cm
名古屋市美術館協力会寄贈

(2)資料収集状況一覧

年度別

年度	分類	日本画など	洋画など	水彩素描など	版画など	写真	彫刻など	特別資料	総計
58年度		0	26	2	0		1		29
59年度		3	32	50	1		0		86
60年度		4	25	67	20		2		118
61年度		5	23	33	6		1		68
62年度		12	38	0	360		15		425
63年度		0	15	8	13		6		42
元年度		3	7	2	275		1		288
2年度		7	4	2	17		1		31
3年度		1	3	2	122		0		128
4年度		2	10	15	126		3		156
5年度		0	13	4	0		3		20
6年度		0	7	0	1		2		10
7年度		1	27	2	195		0		225
8年度		0	7	0	2		3		12
9年度		0	2	0	17		2		21
10年度		2	8	0	21		0		31
11年度		2	10	0	0		1		13
12年度		0	9	0	0		0		9
13年度		0	8	0	※ △83	※ 83	1	0	9
14年度		1	0	0	167	0	0	0	168
15年度		0	1	0	0	8	2	0	11
16年度		0	0	8	0	0	2	0	10
17年度		0	2	10	0	4	0	0	16
18年度		0	9	0	0	0	0	0	9
19年度		0	2	0	0	0	1	0	3
20年度		0	1	0	0	0	1	0	2
21年度		0	1	7	3	0	0	0	11
22年度		0	1	0	0	0	0	0	1
23年度		0	1	0	0	0	0	0	1
24年度		0	0	0	0	0	2	0	2
25年度		0	0	0	0	2	0	0	2
26年度		0	0	0	0	0	0	0	0
27年度		2	1	0	0	3	0	0	6
28年度		0	1	0	0	3	0	0	4
29年度		0	0	0	0	0	△1	0	△1
30年度		0	1	0	0	0	0	0	1
元年度		0	0	0	0	0	0	0	0
2年度		0	0	0	0	0	0	0	0
3年度		0	0	0	0	0	0	0	0
4年度		0	0	0	0	0	0	0	0
購入総計		45	295	212	1,263	103	49	0	(0) 1,967
保管転換		16	41	31	35	3	3	1	(0) 130
寄贈	(0)	103	(3) 370	(3) 973	(0) 603	(0) 797	31	(407) 3,473	(413) 6,350
受入変更		0	0	0	0	2	0	(0) 69	(0) 71
総計	(0)	164	(3) 706	(3) 1,216	(0) 1,901	(0) 905	(0) 83	(407) 3,543	(413) 8,518

収集方針別

分類	日本画など	洋画など	水彩素描など	版画など	写真	彫刻など	特別資料	総計
エコール・ド・パリ	0	32	3	478	0	2	3	(0) 518
メキシコ・ルネサンス	0	(1) 37	(1) 42	391	60	4	0	(2) 534
現代の美術	5	140	100	312	224	63	297	(0) 1,141
郷土の美術	159	(2) 497	(2) 1,071	720	621	14	(407) 3,243	(411) 6,325
総計	(0) 164	(3) 706	(3) 1,216	(0) 1,901	(0) 905	(0) 83	(407) 3,543	(413) 8,518

()内の数字は令和4年度収集分 ※分類変更による増減

<修復>

ディエゴ・リベラ 《アマリア・カスティリヨ・レドンの肖像》

1927年 鉛筆・紙 61.5×48.2cm

【損傷状態】

画面全体に変色。全面、特に下部にしわや波打ちが顕著。左隅に破れがあり、破れに沿って濃い茶色の変色。破れ裏面には粘着テープによる補修あり。右中央ほかに、周囲より変色が少ないことによってできた、白いしみ形状のものが複数見られる。画面中央をはじめとして欠損、ピンホール、傷が数か所にある。本紙はマット装されておらず、段ボールの厚紙に載せられて額装されている。

【修復処置】

・ドライクリーニング

画面全体、ただし描画部は極力避け、ケミカルスポンジでドライクリーニングを行った。

・粘着テープ・粘着剤除去

裏面右下の粘着テープをメスで除去した。本紙には硬く、変色した粘着剤が残った。これをメスで削り、紙中に残った粘着剤は酢酸エチルで極力除去したが、一部残留した。

・補修

破れと欠損を、アクリル絵具で調色した和紙（紙舗直No.K38）を裏面からメチルセルロース（Dow chemical 社製、Methocel A4M）で接着し、補修した。表の傷は部分的に筆に加湿し、メスやピンセットを用いて形状を整えた。

・補彩

表の白いしみ状部分を色鉛筆（三菱ユニアーテレーズ）で補彩した。

【額装】

本紙裏面周辺に沿ってやや厚い和紙（紙舗直No.RK28）の一辺を食い先にし、メチルセルロース（Dow chemical 社製、Methocel A4M）で本紙裏面各辺に固定した。インレイ上辺および下辺各3カ所に和紙ヒンジ（紙舗直No.RK37）をメチルセルロースで接着した。

中性紙ブック型マット、ホワイトアッシュ材にブラウン系色の塗装をおこなった額、オブティウム・ミュージアム・アクリル板、ポリカーボネイト製の裏板を新調し、額装した。

作品を収集するにあたっては、サイズ・材質・形状、作品の状態などの作品に即したデータの採取のほか、作者・作品名・制作年・出品歴・所蔵歴などの作品に係わる歴史・文献的な情報の調査も行っている。これらの情報は、作品研究の基礎となるものであるが、収蔵時にすべてが明らかにできない作品もある。このような作品は、収蔵後も機会あるごとに追跡調査や情報収集を行って、不明な事項や新しい事実を明らかにするように努めている。

(1) 作家表記変更

- ① 現行：淵上白陽 ふちがみ はくよう FUCHIGAMI Hakuyo
改訂：淵上白陽 ふちかみ はくよう FUCHIKAMI Hakuyo
理由：調査による（画面署名）

(2) 作家生没年変更

- ① 久野和洋 現行：(1938-)
改訂：(1955-2022)
理由：作家の逝去

(3) 作品タイトル、制作年変更

- ① 現行：レッド・グルームス《シダー・バー》《Cedar Bar》1993年
改訂：日本語タイトル：《シーダー・バー》
英語タイトル：《Smoking at the Cedar Bar》
制作年：1994年
理由：調査による（画面年記および画面裏記載情報）、表記統一

(4) 作品サイズ変更

- ① 現行：太田三郎《東山動物園猛獣画廊壁画 No.1》
水谷清《東山動物園猛獣画廊壁画 No.2》
宮本三郎《東山動物園猛獣画廊壁画 No.3》 各141×540cm
改訂：各137.0×500.0cm
理由：調査による（実測）

収蔵資料貸出（令和4年度）

作家名	作品名	貸出期間・貸出先	展覧会名・展示期間
巴里東京新興美術同盟	『巴里新興美術展覧会目録』 (江上明旧蔵資料)	令和4年1月27日～9月21日 Bunkamura ザ・ミュージアム 愛知県美術館 富山県美術館	「ミロ展—日本を夢みて」 【東京】令和4年2月11日～4月17日 【名古屋】令和4年4月29日～7月3日 【富山】令和4年7月16日～9月4日
清水 九兵衛	《作品A》 《TRAVERSE H》	令和4年3月28日～10月14日 千葉市美術館 京都国立近代美術館	「生誕100年 清水九兵衛／六兵衛」 【千葉】令和4年4月13日～7月3日 【京都】令和4年7月30日～9月25日
アメデオ・モディリアーニ	《立てる裸婦(カリアティードのための習作)》 《おさげ髪の少女》 【受託作品】《アルルカン》	令和4年3月31日～8月1日 大阪中之島美術館	「モディリアーニ—愛と創作に捧げた35年—」 令和4年4月9日～7月18日
キスリング	《ルネ・キスリング夫人の肖像》		
ハイム・スーチン	《セレの風景》		
藤田 嗣治	《自画像》		
モーリス・ユトリロ	《ラバン・アジュール》		
ディエゴ・リベラ	《スペイン風景(トレド)》		
マリー・ローランサン	《サーカスにて》		
庄司 達	《白い布による空間 '68-6》		
山本 惇右	《ある人間の思想の発展・・・霧と寝室と》 題不詳(《伽藍の鳥籠》のヴァリエーション)	令和4年5月10日～8月25日 東京都写真美術館	「アヴァンギャルド勃興—近代日本の前衛写真」 令和4年5月20日～8月21日
坂田 稔	【受託作品】《球体について》		
	【受託作品】 題不詳(水滴による構成)		
	【受託作品】 題不詳(球体と針金による構成)		
	【受託作品】《嫉妬》		
	【受託作品】《解放への欲求》		
	【受託作品】 題不詳(建築と毛糸による構成)		
	【受託作品】《危機》		
【受託作品】《竹に取材せる》 【受託作品】《農民家屋に就いて》			
キース・ヴァン・ドンゲン	《コルセットの女》	令和4年6月24日～10月4日 パナソニック汐留美術館	「キース・ヴァン・ドンゲン展—フォーヴィスムからレザネフォル」 令和4年7月9日～9月25日
岸本 清子	《創世記の崩壊—そして、海の下絵 1/12》～ 《創世記の崩壊—そして、海の下絵 12/12》	令和4年6月22日～11月18日 愛知県美術館	「STILL ALIVE 国際芸術祭 あいち 2022」 令和4年7月30日～10月10日
三輪 美津子	【受託作品】《STATUE No.4》		
前田 青邨	《宿場》	令和4年9月9日～11月19日 岐阜県美術館	「開館40周年記念 前田青邨展」 令和4年9月30日～11月13日
	《修羅道》		
	《富貴花》		
	【受託作品】《激流》		
淵上 白陽	【特別資料】《列車驀進》	令和4年9月27日～令和5年1月19日 東京ステーションギャラリー	「鉄道開業150周年記念展 鉄道と美術の150年」 令和4年10月8日～令和5年1月9日
	題不詳(停車場、朝霞)		

田中 靖望	【特別資料】《機関車》	令和4年9月27日～令和5年1月19日 東京ステーションギャラリー	「鉄道開業150周年記念展 鉄道と美術の150年」 令和4年10月8日～令和5年1月9日
大島 哲以	《終電車》		
海老原 友忠	《田端機関車庫》		
中村 宏	《ブーツと汽車》		
モーリス・ユトリロ	《ラバン・アジール》		
荻須 高德	【受託作品】《エドガー・キネ通りの市場》	令和4年10月21日～令和5年3月3日 ヤマザキマザック美術館	「パリに生きた画家たち マルク、ユトリロ、佐伯祐三、荻須高德が見た風景」 令和4年10月28日～令和5年2月26日
	【受託作品】《引越屋》		
	【受託作品】《セーヌ川、シテ島》		
	【受託作品】《“リカール”の広告があるタバコ屋》		
高尾 義朗	《雪日印象》	令和4年10月28日～令和5年1月20日 うらわ美術館	「霧田気のかたち」 令和4年11月15日～令和5年1月15日
	【受託作品】《田端印象》		
田村 榮	【受託作品】《人物と風景の印象》		
淵上 白陽	【特別資料】《震災前の東都》 (写真画集『白陽』第4巻第9号掲載)		
	《耕作》		
	【受託作品】《夕陽》		
西 亀久二	【特別資料】《幻想》 (写真画集『白陽』第4巻第9号掲載)		
	【特別資料】《どよめく空気》 (写真画集『白陽』第5巻第3号掲載)		
益子 愛太郎	《秋嶺烟雲》		
米倉 壽仁	《山を想ふ》		
	《占い》		
北脇 昇	《鳥獣曼荼羅》		
	《遍歴》		
	《ミノタウロス》		
眞島 建三	《ふきだまり No.2》		
	《伊豆の海》		
下郷 羊雄	「米倉壽仁による下郷羊雄宛て書簡」（葉書2通）（江上明旧蔵資料）		
岡本 太郎	《明日の神話》	令和4年12月23日～令和5年3月22日 愛知県美術館	「展覧会 岡本太郎」 【大 阪】大阪中之島美術館 令和4年7月23日～10月2日 【東 京】東京都美術館 令和4年10月18日～12月28日 【名古屋】令和5年1月28日～4月2日
	コンスタンティン・ブランクーシ	うぶごえ	令和5年1月19日～3月29日 岡山県立美術館
モーリス・ド・ヴラマンク	雪の村		
キース・ヴァン・ドンゲン	コルセットの女		
パブロ・ピカソ	女		
マリー・ローランサン	アポリネールの娘		
モーリス・ユトリロ	マルカデ通り		
	ノルヴァン通り		
アメデオ・モディリアアーニ	おさげ髪の少女		

ジュール・パスキン	クララとジュヌヴィエーヴ	令和5年1月19日～3月29日 岡山県立美術館	「名古屋市美術館コレクション エコール・ド・パリとメキシコ・ルネサンス」 令和5年2月3日～3月12日
	横たわるエリアース		
	カフェにて		
	ジャネットとベアとロベール		
	悲劇		
	トルコ商人の家にて		
	城壁跡の光景		
	洗濯女		
	モンマルトルの女たち		
	モンマルトルの酒場		
	アメリカの女たち		
	海水浴場		
	キューバ人		
	美しきヨーロッパ婦人		
	幾何学		
	ユディットとホロフェルネス		
	ここにヘロデ王ありき		
	サロメの踊り		
	再び放蕩息子		
	かみあわない下手なジャズ		
フロリダの黒人たち			
ヘロデ王の前で踊るサロメ			
オシップ・ザッキン	扇を持つ女		
キスリング	ルネ・キスリング夫人の肖像		
	マルセル・シャンタルの肖像		
ハイム・スーチン	鳥のいる静物		
	農家の娘		
ホセ・ガダルーベ・ポサダ	骸骨の山		
	山形帽子をかぶった骸骨		
	骸骨新聞人（アントニオ・バネガス・アローヨ）		
	骸骨フランシスコ・マデロ		
	骸骨エミリアーノ・サパタ		
	骸骨ドン・キホーテ		
	骸骨の自転車乗り		
ホセ・クレメンテ・オロスコ	地下鉄/労働者(失業者)		
	メキシコ風景		
ディエゴ・リベラ	スペイン風景(トレド)		
	ホコの葬列		
	アマリア・カスティリョ・レドンの肖像		
北川 民次	トラルパム霊園のお祭り		
ダビッド・アルファロ・シケイロス	カウテモックの肖像		

ルフィーノ・タマヨ	苦悶する人	令和5年1月19日～3月29日 岡山県立美術館	「名古屋市美術館コレクション エコール・ド・パリとメキシコ・ルネサンス」 令和5年2月3日～3月12日
マリア・イスキエルド	生きている静物		
フリーダ・カーロ	死の仮面を被った少女		
藤田 嗣治	自画像		
	夢		
	ベルギーの婦人		
田中 保	ソリタ・ソラノの肖像		
東郷 青児	帽子をかむった男(歩く女)		
佐分 眞	静物		
荻須 高德	アムステルダム運河		
	洗濯場(オーベルヴィリエ)		
	サン・ドニ河岸		
	ボールガール通り		
海老原 喜之助	群鳥		
マルク・シャガール	二重肖像		
	『死せる魂』より「チーチコフの到着」		
	『死せる魂』より「ペトルーシカ」		
	『死せる魂』より「四輪馬車がひっくり返る」		
	『死せる魂』より「放し飼いの庭」		
	『死せる魂』より「ノズドリヨーフ」		
	『死せる魂』より「ミチャイ小父とミニヤイ小父」		
	『死せる魂』より「チーチコフの夢」		
	『死せる魂』より「食卓のサバケーヴィチ」		
	『死せる魂』より「プローシカ」		
	『死せる魂』より「ゴゴリとシャガール」		
	『死せる魂』より「大エステバン・ブローブカ」		
	『死せる魂』より「行けども行けどもはてしなしのグリゴリー」		
	『死せる魂』より「曳舟人足」		
	『死せる魂』より「パーウェル・イワーノヴィチ・チーチコフは旅籠に帰った」		
	『死せる魂』より「舞踏会にあらわれたチーチコフ」		
	『死せる魂』より「裸で逃げ出す」		
	『死せる魂』より「やせ細った役人たち」		
	『死せる魂』より「チーチコフはひげを剃る」		
	『死せる魂』より「税官吏チーチコフ」		
	『死せる魂』より「夕暮れのトロイカ」		
	『七つの大罪』より「扉」		
『七つの大罪』より「傲慢Ⅰ」			
『七つの大罪』より「傲慢Ⅱ」			
『七つの大罪』より「吝嗇Ⅰ」			
『七つの大罪』より「吝嗇Ⅱ」			

マルク・シャガール	『七つの大罪』より「淫蕩Ⅰ」	令和5年1月19日～3月29日 岡山県立美術館	「名古屋市美術館コレクション エコール・ド・パリとメキシコ・ルネサンス」 令和5年2月3日～3月12日
	『七つの大罪』より「淫蕩Ⅱ」		
	『七つの大罪』より「羨望Ⅰ」		
	『七つの大罪』より「羨望Ⅱ」		
	『七つの大罪』より「大食Ⅰ」		
	『七つの大罪』より「大食Ⅱ」		
	『七つの大罪』より「憤怒Ⅰ」		
	『七つの大罪』より「憤怒Ⅱ」		
	『七つの大罪』より「怠惰Ⅰ」		
	『七つの大罪』より「怠惰Ⅱ」		
	『寓話』より「ウンと同じくらい大きくなりたいと思っ たカエル」		
	『寓話』より「死と木こり」		
	『寓話』より「海綿を背負ったロバと塩を背負っ たロバ」		
	『寓話』より「オンドリとキツネ」		
	『寓話』より「人間の女に変わった牝ネコ」		
	『寓話』より「粉ひきとその息子とロバ」		
	『寓話』より「キツネとヤギ」		
	『寓話』より「年をとったライオン」		
	『寓話』より「男と木像」		
	『寓話』より「オオカミとヤギと小ヤギ」		
	『寓話』より「財産を失った守銭奴」		
	『寓話』より「木こりとメルキュール」		
	『寓話』より「ワシとフクロウ」		
	『寓話』より「戦いに出かけるライオン」		
	『寓話』より「若い未亡人」		
	『寓話』より「女易者」		
	『寓話』より「ライオン王の妃の葬儀」		
	『寓話』より「彫刻家とジュピテルの像」		
	『寓話』より「二羽のオウムと王様と王子」		
	『寓話』より「二匹の牝ヤギ」		
	『聖書』より「人類創造」		
	『聖書』より「ノアの生贄」		
	『聖書』より「ノアの着物」		
『聖書』より「アブラハムと3人の天使」			
『聖書』より「ロトとその娘たち」			
『聖書』より「アブラハムの生贄」			
『聖書』より「サラの死を悼むアブラハム」			
『聖書』より「ヤコブの梯子」			
『聖書』より「ヤコブと天使の格闘」			
『聖書』より「若き羊飼いのヨセフ」			

マルク・シャガール	『聖書』より「ポテバルの妻」	令和5年1月19日～3月29日 岡山県立美術館	「名古屋市美術館コレクション エコール・ド・パリとメキシコ・ルネサンス」 令和5年2月3日～3月12日
	『聖書』より「川から助け出されたモーセ」		
	『聖書』より「燃えるしば」		
	『聖書』より「モーセと蛇」		
	『聖書』より「紅海の道」		
	『聖書』より「神から石板を授かるモーセ」		
	『聖書』より「黄金の子牛」		
	『聖書』より「律法の石板を砕くモーセ」		
	『聖書』より「アロンと燭台」		
	『聖書』より「主の命により武装したヨシュア」		
	『聖書』より「剣の天使の前のヨシュア」		
	『聖書』より「エリコの町を前にするヨシュア」		
	『聖書』より「太陽をとどめるヨシュア」		
	『聖書』より「マノアの生贄」		
	『聖書』より「サムソンと獅子」		
	『聖書』より「ガザの町の門をかつぎあげるサムソン」		
	『聖書』より「サムソンとデリラ」		
	『聖書』より「柱を倒すサムソン」		
	『聖書』より「サウルの塗油礼」		
	『聖書』より「サウルとダビデ」		
	『聖書』より「ゴリアテを倒したダビデ」		
	『聖書』より「サウルの前のダビデ」		
	『聖書』より「ダビデとバテシバ」		
	『聖書』より「ダビデに跪くバテシバ」		
	『聖書』より「ソロモンの夢」		
	『聖書』より「ソロモンの裁き」		
	『聖書』より「ソロモンの祈り」		
	『聖書』より「シバの女王」		
	『聖書』より「玉座のソロモン」		
	『聖書』より「天使に触れられたエリヤ」		
『聖書』より「天に昇るエリヤ」			
『聖書』より「イザヤの見神」			
『聖書』より「メシアの時代」			
『聖書』より「エルサレムの解放」			
『聖書』より「イザヤの祈り」			
『聖書』より「エレミヤの嘆き」			
『聖書』より「エゼキエルの見神」			
『聖書』より「エゼキエルの召命」			
甲斐庄 楠音	《女の顔》	令和5年1月31日～8月31日 京都国立近代美術館 東京ステーションギャラリー	「甲斐庄楠音—絵画・演劇・映画を越境する個性」 【京都】令和5年2月11日～4月9日 【東京】令和5年7月1日～8月27日
	《椅子に倚る女》		
	《砂の女》		
	《畜生塚由来(草稿)》		

マリー・ローランサン	《サーカスにて》	令和5年2月5日～9月3日 Bunkamura ザ・ミュージアム 京都市京セラ美術館 名古屋市美術館	「マリー・ローランサンとモード」 【東京】令和5年2月14日～4月9日 【京都】令和5年4月16日～6月11日 【名古屋】令和5年6月24日～9月3日
岸本 清子	《アリス》11点	令和5年2月9日～5月29日 豊田市美術館	「ねこのほそ道」 令和5年2月25日～5月21日
	《骰子の自画像》		
	《ナルシスの自画像》		
	《足の自画像》		
	《イエス・キリスト》		
	《赤猫の自画像》		

(1)名称

ゆめ・プレミアムアートコレクション寄附金事業

(2)趣旨

優れた美術品の収集、所蔵作品の修復をするため、寄附金を集めるもの。令和元年度から「東山動物園猛獣画廊壁画修復募金」を開始し、令和5年度「名古屋市美術館開館35周年」での修復後の壁画の公開を目指す。

(3)寄附金の概要

1口1,000円以上。特典として、名古屋市外在住の5,000円以上の個人の寄附者には、常設展1年間定期観覧券(大人1,200円)を進呈。

(4)目標額

東山動物園猛獣画廊壁画修復募金として令和5年度までに10,000,000円。(学生向け優待制度の一部金額も含む)※令和4年度に達成済

(5)寄附金受入状況(令和5年3月31日現在)

令和4年度：206件、9,251,500円

累計：700件、38,576,525円

(6)寄附金の活用

平成30年度に寄附金13,000,000円を活用し、開館30周年記念作品として、藤田嗣治《ベルギーの婦人》を購入した。

令和4年度から5年度にかけて、戦後東山動物園に展示されていた3枚の「東山動物園猛獣画廊壁画」の修復プロジェクトに活用する。

(プロジェクトについては12ページ参照)

名古屋市美術館
東山動物園猛獣画廊壁画修復募金

ゆめ PREMIUM ART COLLECTION
PREMIUM ART COLLECTION
寄附金事業

名古屋市美術館では、「ゆめ プレミアムアートコレクション寄附金事業」として、「東山動物園猛獣画廊壁画修復募金」を開始します。

第2次世界大戦中、東山動物園の動物は殺処分などにより激減しました。1948年、中京新聞社の提唱により、猛獣のいない寂しさを補う目的で、動物不在の歌合に「猛獣画廊」が開設されました。世界の動物の生態を紹介する3点の壁画が、太田三郎、水谷清、宮本三郎の画家3氏によって描かれ、猛獣画廊で公開されました。

動物の飼育数が回復するに従って役目を終えた壁画は、現在名古屋市美術館に保管されています。しかし収蔵当初から損傷が激しく、良好な状態で保存、展示するために修復が必要な状況でした。皆様からいただいた寄附金を、この壁画の修復に活用させていただき、本市の貴重な文化財があるべき姿で後世に伝えていきたいと考えています。目標額は1000万円です。令和5年度「名古屋市美術館開館35周年」での修復後の壁画の公開をめざします。

どうぞ、皆様のご協力をお願いします。

太田三郎《東山動物園猛獣画廊壁画 No.1》
1948年 油彩・キャンバス 141.0×540.0cm

※「ゆめ プレミアムアートコレクション寄附金事業」は、ふるさと納税の対象(税の控除)となります。寄附の方法等詳細につきましては「ゆめ プレミアムアートコレクション寄附金事業」のリーフレットをご覧ください。

初問い合わせ
名古屋市美術館 総務課
〒460-0008 名古屋市中区栄二丁目17番26号
TEL 052-212-0001 (FAX 052-177001) 01122001 2202

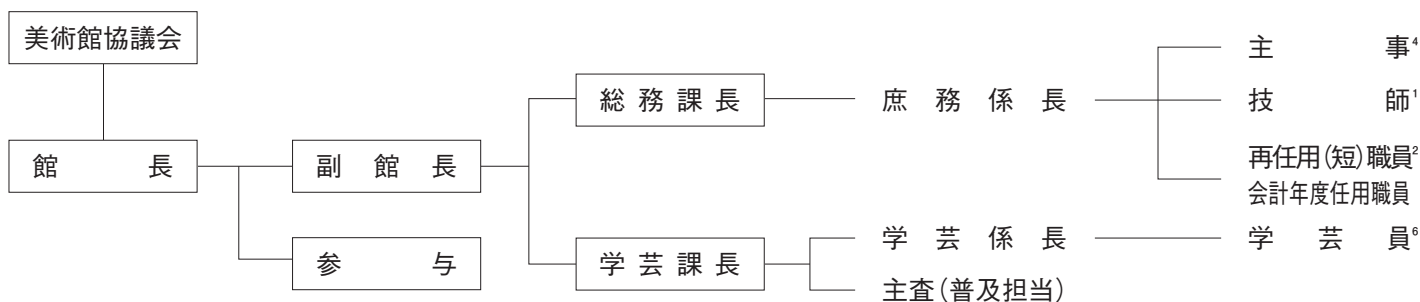
入館者一覽 VISITOR

展 覽 会 名	開催期間	開催 日数 (日)	有 料			無 料			入場者 総 数 (名)
			一般	高大生	有料小計	招待券等	中学生以下	無料小計	
常 設 展	令和4年 4月1日(金)～ 令和4年 11月27日(日)	168	4,416	1,160	5,576	88,719	1,738	90,457	96,033
特 別 展	ゴッホ展 ― 響きあう魂へ レーネとフィンセント	10	26,122	1,830	27,952	1,683	3,594	5,277	33,229
	布の庭にあそぶ 庄司達	51	5,311	940	6,251	3,466	1,092	4,558	10,809
	ボテ口展 ふくよかな魔法	63	28,731	4,518	33,249	5,994	4,151	10,145	43,394
	「クマのプーさん」展	44	41,665	7,032	48,697	9,110	6,479	15,589	64,286
	特 別 展 小 計	168	101,829	14,320	116,149	20,253	15,316	35,569	151,718
合 計			106,245	15,480	121,725	108,972	17,054	126,026	247,751
								教育普及事業参加者 (展示室内参加者を除く)	6,564
								総 計	254,315

〈年度別入館者数等〉

区 分		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	累 計	
展 覧 会	常 設 展	開催日数	230日	81日	239日	168日	9,281日
		入場者数	110,631人	6,965人	67,739人	96,033人	4,433,739人
	特 別 展	開催日数	200日	50日	289日	168日	7,371日
		入場者数	245,510人	5,683人	178,549人	151,718人	8,853,720人
入 場 者 小 計		356,141人	12,648人	246,288人	247,751人	13,287,459人	
教育普及事業参加者		16,259人	676人	6,808人	6,564人	747,752人	
入 館 者 合 計		372,400人	13,324人	253,096人	254,315人	14,035,211人	

1 組織図



2 美術館協議会

(1)名古屋市美術館協議会委員

名古屋市立あずま中学校長	庄司 直美	愛知県私学協会文化部長	坂 美好
愛知県立旭丘高等学校長	小林 整次	公益財団法人名古屋市文化振興事業団専務理事兼事務局長	眞野 隆久
名古屋市立大学大学院人間文化研究科准教授	宮下さおり	名古屋市地域女性団体連絡協議会書記	広瀬多恵子
名古屋市立小中学校PTA協議会理事	井上 純代	公募委員	豊田 明子
愛知県立芸術大学美術学部准教授	金子智太郎	名古屋商工会議所文化・観光委員会副委員長	小山 真人
愛知県美術館長	拝戸 雅彦	名古屋造形大学教授	濱田 樹里
名古屋造形大学教授	高橋 綾子	日本旅行業協会審議役	松本 博

(2)名古屋市美術館協議会開催状況

日 時	協 議 題
第1回定例会 令和4年9月16日(金) 午後2時～午後4時	○令和3年度事業実施結果について ○令和4年度事業実施状況について
第2回定例会 令和5年2月7日(火) 午前10時～正午	○令和4年度事業実施状況について ○令和5年度事業計画(案)について

3 職 員

館 長	津坂 昌樹	学芸課長	井口 智子
参 与	深谷 克典	学芸係長	保崎 裕徳
副 館 長	榊原 美德	主査(普及)	小出 雄也
総務課長	稲葉 隆司	学 芸 員	清家 三智
庶務係長	服部 雅也		近藤 将人
主 事	丹羽 恭子		森本 陽香
	川上 英美		勝田 琴絵
	木村 進也		久保田舞美
	黄 直子		竹葉 文
技 師	平野 晃成		
再任用(短)職員	秦 久美子		
会計年度任用職員	千田 智治		

4 運営予算

総予算費	内 訳	
271,365千円	特別展関係費	127,250千円
	常設展運営費	14,984千円
	資料関係費	6,684千円
	教育普及事業費	5,731千円
	調査研究費	389千円
	管 理 費	116,327千円

令和4年度名古屋市美術館年報

発行日

令和5年9月

編集・発行

名古屋市美術館

〒460-0008 名古屋市中区栄二丁目17番25号
(芸術と科学の杜・白川公園内)

TEL 052-212-0001

FAX 052-212-0005

名古屋市美術館

〒460-0008 名古屋市中区栄二丁目17番25号

Tel.052-212-0001 Fax.052-212-0005